

# 幼の育教

號四第 號月四 卷九十二第



內校學範師等高子女京東  
會協園稚幼市日

廣島高等師範學校教授

文學博士 久保良英先生新著

四六判全一冊洋銀 定價金貳圓 送料金十八錢

新刊

# 愛兒良毅の教養

本書の全文は悉く眞摯なる學者の兒童教養實驗記録で有

久保博士の令息良毅君は僅か九歳の年齒を享けて其餘りに短き生涯を終られた。……博士は本書自序の一節に「良毅は私の學位論文の中の言語の發達の資料を供給して呉れた」とある如く、君は其生前、博士の兒童研究のよき伴侶であり、よき對象であつた。博士は今其悼み、其悲み、其涙を新にして以て本書を著す。且又「彼の生立の全部を心理學的に記述して多少なりとも彼の此世に於る存在の意義を更に深め度」と敬虔なる學者的願望を述べられて居る。言ふ迄もなく博士は實驗心理學殊に兒童心理の一大權威、この個の純情を以て綴られた本書の一字一句は兒童研究としての學的價値は言ふに及ばず、尙且貴重なる育兒の記録として總ての教育家及師父に裨益する所多しと信ず、御必讀を乞ふ。

文學博士

久保良英著

## 實驗心理學精義

好評赫々

三版 簡單なる行動篇  
三版 復雜なる行動篇

菊判全一冊紙貳百八頁洋貳圓貳百  
定價金六圓 送料金貳圓七錢  
菊判全一冊紙貳百八頁洋貳圓貳百  
定價金六圓 送料金貳圓七錢

久保博士の實驗心理學精義は蓋し學界の至寶である。日本唯一の施設兒童研究所を創設し鋭意研究として、實驗心理學の檢討に餘念なき著者は前篇簡單なる行動篇、後篇復雜なる行動篇を著してその實驗方法は實験的及量的兩者交互に説叙し未決の問題は之を未決の問題として始終し、且つその結果相背變せるものに対しては決して獨斷的私見を取らず、終始一貫純正なる學者的立場より世界の心理學者が開拓せし所、又はせんとする所に周到懇切に詳述せるものなるを以て書中最新學說の充滿せる事を快たす、且つ本書述の最も轉角とする所は其の研究發表が、唯單に學的研究者の學的的の指針として貴重なるものである。如上關係者の外交檢閱者等の必要なり必讀を乞ふ。

發行所 東京市牛込區 文庫館書店 電話 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三 三三三

原色版の美しい理想的な児童用額面畫が出来ました！

# 日本童畫家協會作品集

第一輯



## 目次

- 姉妹……………初山滋
- びつくり……………岡本歸一
- お山の大将……………川上四郎
- 遠方の國……………武井武雄
- 可愛がつたりおどかしたり……………村山知義
- 失はれたお人形の夢……………瀧澤省三
- 畫の夢……………清水夏雄

注文殺到し  
部少し！  
御希望の方  
は直ぐ御注  
文下さい！

## 推薦者

- ◇和田 英作先生
- ◇高島平三郎先生
- ◇岡田三郎助先生
- ◇倉橋 惣三先生
- ◇久留島武彦先生
- ◇正木 直彦先生
- ◇岸邊 福雄先生

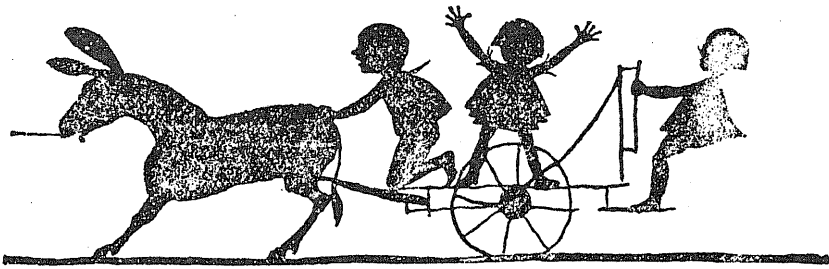
畫面(一) 尺一寸五分  
題紙(二尺五寸一尺五分)  
定價一組(七卷)二圓  
郵送料拾八錢  
賣切れぬうちに  
御注文を！

今回、日本童畫家協會の諸先生が日本のお子様方にも立派な藝術的價値ある額面畫を差あげたいといふので諸先生の力作の中から特に自信あるものを撰び、印刷の完全を期すると共に、一枚毎に作家の査閲を経るといふ慎重なる態度のもとに發行されるに至りました。又この意義ある企てのために児童教育及び児童藝術の最高權威である諸先生が、喜んで賛助を與へられた事を光榮とする次第であります。

# 「コドモノクニ」春の増刊 兒童劇・童話號

春を楽しむ子供の心を、劇によつて、童話を唄ふことによつて、童話をお話し、又は聞くことによつて十分に現はし得る様に、また小學校の學藝會、又は幼稚園の卒業送別會などに可愛いお子様方が共に楽しめる様に發行したのが此の春ノ増刊號です。更にまたお家庭でも一家揃つて春のうららかな一日をお子様方を中心に楽しく過していただくために是非くなくてはならない種本です。どうか賣り切れないうちに直ぐ御注文下さい。

三月二十五日發行  
定價・五十錢  
送料・一錢五厘  
各書店にあり



# 育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長 吉岡 甫  
主幹 堀 七 藏

東京女子高等師範學校校長  
東京女子高等師範學校教授  
附屬幼稚園主事

## 日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ豫出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ各員トナスコトアルベシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
  - 一、幼兒教育ニ關スル研究及ビ調査
  - 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ開催

- 第一、雜誌發行(毎月一回)
  - 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
  - 一、保嬰就職及招聘ニ關スル仲介
  - 一、其種本會ノ目的ニ裨益アリト認ムル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
    - 會長 一名 會務ヲ總理ス
    - 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
    - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
    - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ
  - 第十條 會長ハ各員中ヨリ推薦スルモノトス
  - 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
  - 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
  - 第十三條 本規則ハ總會出席員會ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更スルコトヲ得ズ



號四第 育教の兒幼 卷九十二第

—(次 目)—

口 繪 電車が走る	
幼稚園醫令の發布	倉橋惣三……二
私が視察したる米國の幼稚園教育(承前)	堀 七藏……七
新入園幼兒をむかへて	及川ふみ……一七
入學以前に於ける幼兒の數的生活(三)	卜部たみ……三二
日本大學幼稚園に於ける口腔衛生の現況(二)	水間盛三郎……三七
岡山訪問記(二)	一 保 姆……三七
紐置さ遊びに就て	膳 眞規子……四〇
踊と幼兒教育	水島さゆり……五〇
謠曲から童話へ	水谷年恵……五六
セルリの栽培(二)	大 谷 金……五九
五月に於ける「觀察」	堀 七藏……七六

# 幼児の手技研究会

- 一、幼児及小學校低學年の手技教育の完成を目標としての研究
- 一、資料は本會獨自のもの及び全國各幼稚園から提供になつた結構なものをとし、紹介す。
- 一、毎月一回研究製作會を開催し、一は幼稚園に毎月新しい手技の資料を供給し又一は保姆先生に手技手藝の趣味を養ひ器用を修練せしめんとす
- 一、遠方の方及び出席しがたい方の爲に通信研究部を設け、毎月會の資料を製作して見本として提供す。
- 一、會費毎月六十錢(出席者)通信部は別に左記小包料を要す。
- 送料、市内六錢 内地十二錢 臺灣樺太三十錢 滿洲四十五錢、外國小包料
- 一、通信研究部會員は右毎月會費及送料を三ヶ月六ヶ月一ヶ年等にまとめて送附のこと(振替、小爲換)但し送金は各園の都合のときにてよろし、ハガキ御申込次第毎月會の資料送附す、中途御退會の場合にはハガキ御一報有之度

四月會プログラム

- 1、糸掛法(新研究)
- 2、鯉 幟(東京富士見幼稚園で資料をいただきました)
- 3、葛 蒲(イ)手造花貼繪
- 4、ヒゴ細工サーベル(東京徳風幼稚園で資料をいただきました)
- 5、桃太郎さん(手玩具)東京吉野幼稚園で資料をいただきました

五月會プログラム

一、幼児の粘土細工競技

## 御大典紀念 折紙帖 頒布 賜 照宮殿下台覽

最上の紀念品で又是非必要な參考書であります、百幾十種の折方が始めての人にもよく解するやうに手引折方が貼込んであります、非常に重寶であります、立派な帖でございます。

御入用はハガキにて御申込のこと、急ぐわけには参りませんがいつでもお申込順に出來たそばから送りますし上げます。

折紙帖はお申込の幼稚園へ順に製作してお送りして居りますが非常にお喜び下されば言ひ合はされたやうに感謝のお手紙を頂いて居ります非常にうれしうございます。

特製普通版價格金七圓五十錢

書留小包料、包裝料 五十錢

獻上型 大版 價格金拾貳圓

書留小包料、包裝料 七十錢

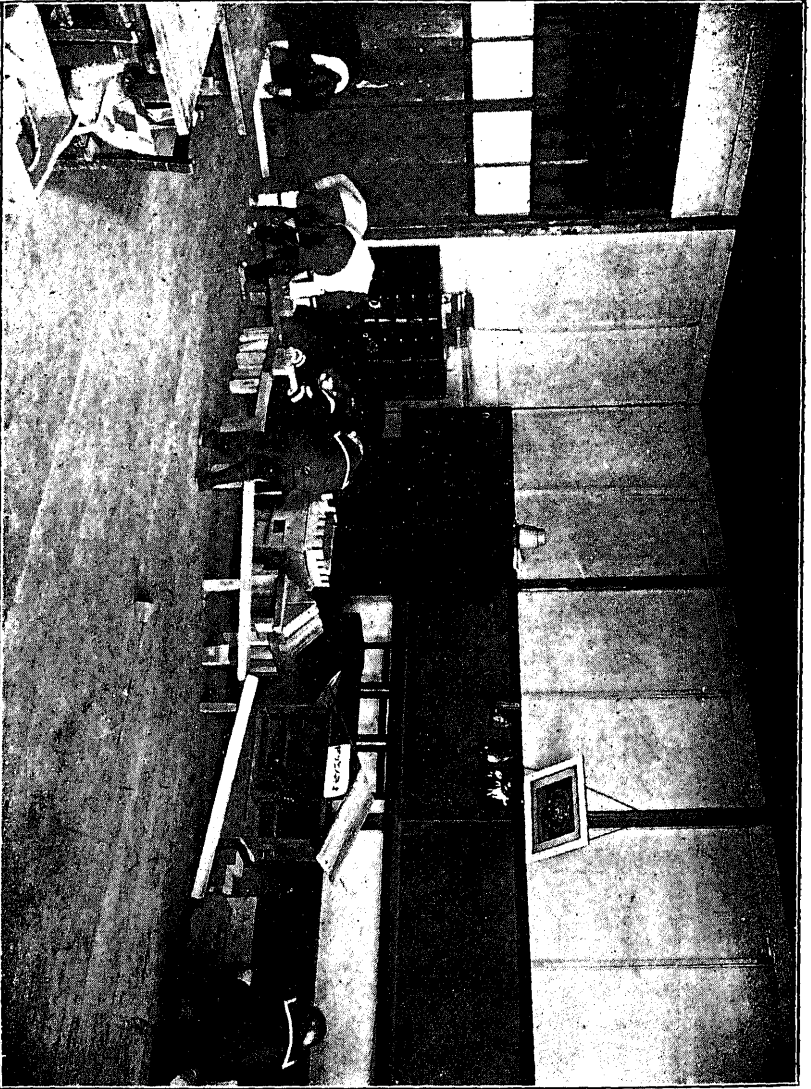
昭和四年三月

東京市牛込區納戸町六番地

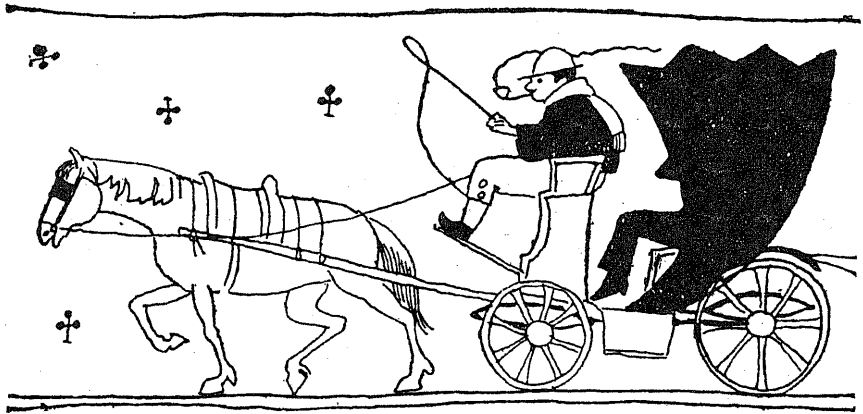
東洋幼稚園牛込分園内

久門嘉祐  
 幼兒の手技研究会(どちらでも振替がよろしい)

東京六六五八〇番



(園稚幼屬附)る走が車電



號四第 育 教 の 兒 幼 卷九十二第

月 四 年 四 和 昭

一、教育で家庭教育位重要なものはありません。家庭教育の良否は實に人生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼児の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼児の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。

一、幼児の教育は幼児の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたもので有ります。



# 幼稚園醫令の發布

倉 橋 惣 三

豫ての宿題であつた幼稚園醫令は、三月十八日勅令を以て發布せられた。同勅令では、學校醫令、青年訓練所醫令が併せ發布せられてあるが、其の第七條に、「各幼稚園ニ幼稚園醫ヲ置ク」とあつて、同勅令第二條乃至第六條の、學校醫に付ての規定が之れに準用されることに定められてある。こゝに其の規定を擧ぐれば次の通りである。

第一條 各學校ニ學校醫ヲ置ク

第二條 學校醫ハ學校衛生ニ關スル職務ニ服ス

第三條 學校醫ハ官立ノ學校ニ在リテハ學校長、公立ノ學校ニ在リテハ地方長官、私立ニ在リテハ設立者之レヲ囑託ス

學校醫ハ醫師タルコトヲ要ス

第四條 學校醫ハ學校衛生ニ關シ監督官廳、市町村長（町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ町村長ニ準ズベキ者トス。以下同ジ）又ハ學校長ノ諮問スルトキハ意見ヲ答申スベシ

學校醫ハ學校衛生ニ關シ監督官廳、市町村長、又ハ學校長ニ建議スルコトヲ得

第五條 學校醫ニハ當該學校ノ經費ヨリ相當ノ手當ヲ給スベシ、但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ此ノ限リニアラズ

第六條 本令ニ定ムルモノ、外、學校醫ノ執務其他ニ關シ必要ナル規定ハ文部大臣之レヲ定ム

第七條 各幼稚園ニ幼稚園醫、各青年訓練所ニ青年訓練所醫ヲ置ク

第二條乃至前條ノ規定ハ幼稚園醫及青年訓練所醫ニ付之ヲ準用ス

#### 附 則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ之レヲ施行ス

特別ノ事情アル場合ニ於テハ當分ノ內學校醫、幼稚園醫及青年訓練所醫ヲ置カザルコトヲ得。

すなはち、之れによつて初めて幼稚園衛生の法令的確實性が實現せられた譯で、まことに欣慶にたえぬことである。元來幼稚園令の制定せられた時、衛生方面に關する規定の擧げてないことは、幼兒保育の本質上重大なる缺陷として感ぜられて居たが、追つて幼稚園醫令の制定によつて、其の缺陷は當然充實せらるゝことに、その當時から豫定せられて居たのである。幼兒の身體的健康に於て至大の責務をもつところの幼稚園としては、幼稚園令と此の幼稚園醫令とを併せて、茲に初めて完全なる規定を得たと云つてゝ譯なのである。

此の法令の有無に拘はらず、幼稚園醫の置いてあつた幼稚園は、決して少くはなかつたであらう。しかし法令の定めのない間は、園醫、即ち、衛生的方面の専門的當事者なしにも幼稚園は行はれ得たのであつて、其の不合理、不完全、といふよりも寧ろ大いなる危険が如何に多く存したことであらうか。之れは吾人の長く遺憾とし、時に寒心にたえない點であつたのである。殊に、問題を極めて消極的に考へるとしても、幼稚園は、幼弱なる幼児が病菌の傳染を受け易いといふことを以て、常に醫家から危惧されてゐたのである。甚しきは、それを以て、幼稚園そのものへの反對論の根據にさへされることもあつたのであ。此の問題に對し、保母は勿論その注意を怠らなかつた。從來とても決して實際上の用意を缺かれてゐたのではない。しかも、衛生醫學に關する専門的當事者の居ない場合に、われひと共に、理論的弱點なしといふ譯にはゆかなかつた。幼稚園醫の法規的存在は、此の點に關しても、必ずや強い解決を與へるものである。

更に積極的に考へる時に、幼兒保育の眞の任務が、幼稚園醫の力によつて、深く廣く實現せられてゆくことを期待せずにはゐられない。幼兒期の保育が、身體的方面の問題を、殆んど其の半分と見るべきことは言ふまでもないのであつて、幼稚園教育原理のみに基く幼稚園の傳統的觀念からすればこそ、從來及び現在の幼兒保育が、身體的方面の積極的考慮を平氣で缺いてゐるのであるけれども、之れは新らしき時代の要求する幼兒保育として、甚しく不完全なことである。英國の保育學校令が、如何に身體衛

生の方面に重きを置いてゐるかを更めて引き合ひに出すまでもなく、我國新幼稚園令の精神も、當然にその方面を重視してゐるのである。

此の勅令の附則には、特別の事情ある場合に於ては當分の内之れを置かざることを得となつてゐる。之れは、新しき法令が常に與へるところの、施行期日の猶豫であつて、政府として、法令強制の寛大を示すものであるけれども、幼稚園そのもの、本來の性質上より見る時は、當然、全國一齊に、残らずの幼稚園に於て、此の法令通りに即時實施せらるべきものである。社會も亦、幼稚園醫の有無を以て、その幼稚園に對する信頼を定むるに相違ない。從來に於ても、そうである筈であつたのであるが、法令の根據を以てして益々その感は強く鋭くならざるを得ない。附則の猶豫を以て、實際上の實施を猶豫さるべきものではないのである。

尙ほ序を以て言ひ添へて置き度いことは、幼稚園醫の職に當る人々が、是非とも、其の職務の積極的責任を明かにして、幼稚園衛生の充實に熱心なる努力をつくされんことである。幼稚園當事者としても苟も専門家を囑託す以上、つとめてその意見を徴し、自己の幼稚園の充實をはかるべきことは言を俵たぬが、世には往々にして、名目だけといふ風のことが行はれないとも限らない。若し、そんなことであつたら、折角くの幼稚園醫の新令も、その點の効果を擧げることとは出來ない。而して、吾人は、その充實の責任を、幼稚園當事者に求めると共に、幼稚園醫その人に期待せざるを得ぬ。幼稚園醫の任務は

その幼稚園を通じて、國民保健の基礎を立てるものである。英國が保育學校令を制定した時の一つの主なる精神であつた如く、國民保健の大事業が學齡を俟つて着手せらるゝのは既にふそいのであつて、必ず、學齡前幼兒期に於て着手せられなければならぬのである。而して、それは、實際上幼稚園醫の任務であるのである。吾人は、此の重大なる意義に於て、幼稚園醫令の發布を深く欣ぶと共に、幼稚園醫諸氏に對して、至大の責任を期待するものである。

春 爛 漫

うら／＼とのどけき春の心よりにほひ出でたる山櫻ばな

加 茂 眞 淵

み吉野の櫻咲きけり帝王の上なさに似る春の花かな

與 謝 野 晶 子

しめやかに思ひ餘れるいさをして柳の奥に上り來る月

同

すみだ川褰着てくださいかだしにかすむあしたの雨をこそ知れ

加 藤 千 蔭

山里の春の夕暮來てみればいりあひの鐘に花ぞ散りける

能 因 法 師

うら／＼に昭れる春日に雲雀あがり心かなしもひとり思へば

大 伴 家 持

# 私が視察したる米國の幼稚園教育(承前)

堀 七 藏

今度は米國の首府ワシントンに於けるトムソンスクールにある幼稚園の參觀について説明いたします。一月二十九日午前九時トムソンスクールに行き、女兒の入口からこの學校に入りました。實は日本大使館の紹介をもち大使館から豫め電話をかけてあつた筈でありますが徒歩で行つたので八時半より一寸おくれて居りました。この學校は男兒の入口が十二番町に開き、女兒の昇降口がL町に向ひてゐるのであります。内部は男女の共學であります、それでも昇降口が男女別になつてゐるから面白いやうにも感じます。小學校は勿論ハイスクールでも大學でも男女共學の本場であるアメリカでも矢張り男女の便所を嚴重に隔離し男女の昇降口を別にしてゐる細心の注意に奇異の感を抱くのであります、事實男女共學であるが爲に充分の注意を拂はねばならぬ事件が多いと申しますから、我が國などで男女共學でないといふ教育が出来ないかの如く宣傳するのは餘程誤解が多いと思ひます。

この學校の廊下の真中どころに、オフィスルームがあるから入つて見ると、男兒が三人ばかりゐて特

に腰掛を私にすゝめて呉れます。我が國の兒童ならば知らぬ顔の半兵衛をきめ込むか、ぐつ／＼蔭口でもきくところですが、さすがアメリカの兒童中々如才がないものであります。外套や帽子をとつて右のドアが開いてゐるから一寸見ると、教室があつて女教師が教授してゐます。しかし自由學習であると見えて、教師が講義や問答をしてゐるのではありません。參觀してゐるのでないから詳しいことが分りません。校長が来るかと思つてオフィスルームに立つてゐると一女教師が入つて來ました。そして入口のドアの横にはつてある印刷した表に何か記入して直に隣の教室に行きました。ハテ何をしたのかな」とその表を見ると、八時四十分と記入したことが分りました。オフィスルームの時計を見れば成程八時四十分であります。この表を注意して見ると二十人の教師の姓名が列記してあります。そして毎曜日の下に教師の出動した時刻が記入してありますので、これがワシントン教育局から出してゐる教師の出動簿であることが分ります。「授業前十五分に出勤すべし」といふ注意書があり、この表は學校長から教育視學局に提出することになつてゐます。思ふに學校の終る時刻は同一であるから別に報告する必要もないが各教室に割據する教師の出勤時間は校長に判明せず、また監督者も分らないから、この出勤時刻表が記入せられるのでありませう。勿論この出勤時刻表から出勤時間が分り、それによつてサラリーが上下せられることは明白なことであります。アメリカの生活が如何に時間的であるかを知ることが出來ると共に、如何に勤務時間と俸給とが相關係するかを推察することが出來ませう。

暫く待つてゐると校長が来て、直に幼稚園に案内して呉れました。こゝの小學校にある幼稚園はオフィスルームのすぐ向ふ側にあります。四十五六とも思はれる保姆が愛想よく握手して呉れます。これが主任の保姆で、更に二十五六とも思はれる若き保姆が一人ゐます。多分補助か助手であります。保育室は二教室に相當する位大きな一室で、南側から冬の日の光を受けるよい室、その隣りに入口があり、幼児の携帶品置場があり保姆の机もあります。また反對側には幼児の便所や手洗場があるので、至極便利に出来てゐます。この保育室は遊戯室を兼ねてゐること勿論でありますから、いろいろの設備がしてあります。入口の左側が一面に黒板になつてゐますが、その前にボールなどを入れた箱があり、また雑誌などをのせた小さなテーブルがあり、紙細工をのせる臺があります。突當りの窓のところには金魚などのアクアリウム（水族器）がありますし、カンバスがあります。またスチームを挾んで積木の箱があり、壁には鳩の出る時計や額が掲げてあります。また窓掛を利用して月夜の景が畫出され、常緑木を生けてあります。ピアノは窓際にありますし、その横に棚があり、また鉢物を載せた臺があります。入口の右側の壁にはマリヤの畫像が掲げてあり、露草が壁に高く取付けた臺から見事にたれ下つてゐます。冬の日、露草の鉢物が室内を裝飾してゐることは歐米では屢々見るところで青々した氣分が室内に湛つてゐる感があります。また廊下側の壁を見るとマリヤの額の外にいろ／＼子供の畫が澤山裝飾してあり



ます。その壁際には棚があつてクレヨンや鉄などを載せてあります。それから積木で家屋が出来てゐるし、積木と砂とを使つて海に船、橋があり家があるといふやうなものがこしらへてあります。是等は一旦こしらへると一ヶ月も二ヶ月もその儘に保存して置くのであります。我國で幼児が積木遊びをするのとは稍々趣が違つてゐます。こしらへたかと思ふとすぐにこはし、こはしたかと思ふとまたこしらへてゐるといふのは異なるのであります。どうも大國民的なところがアメリカの幼児にあると思はれます。この保育室には半圓の線が二本重ねて床上に書いてありますし、机が八脚づゝ二ヶ所に置いてあります。が、勿論移動することが出来、組合せることも出来るやうになつてゐます。

## 三

この幼稚園の幼児は四十人位ゐる想であります。風邪などで缺席者が多く、午前九時に集つた幼児は男女併せて僅かに二十一人しかありません。九時に室の真中に腰掛けて集まると家庭でこしらへて来た時計を保姆に渡しました。保姆は幼児と同列に腰掛け、助手はピアノの前に腰掛けてゐます。幼児が持つて来た時計は主として幼児が家庭で造つたものでボール箱を利用したものにすぎないが、中には兄や姉などが造つたものもあります。幼児の數を皆と共に數へた後、時計について尋ねました。誰がつくつたかときかれて、マイセルフといふものがあります。また時計堂の如きものがあつた爲め建物につき間答もした。振子でチツクタクと鳴るものがあつたので皆を靜かにさせ、その振子をふつて音を聽か

せて、何の音か判断させそして時計を開いて中を見せました。そしてどうして音がするかを尋ねると、ペンヂユラムが横に當るからと答へる幼児があります。

それからグッドモーニングの歌をうたひ、祈をなし、更に一幼児に國旗をさしげさせ、之を拜しつゝ、アメリカの國歌を歌つたのであります。我が國で國旗を教室に置いてゐる所もなく、毎朝「君が代」をうたふ所もないが、アメリカでは特に國旗中心の教育をなして國民思想の涵養に努力してゐることは大に注目すべきことでありませう。

それから圓い列の中に、三人の幼児を出してチツクタツクと振子の眞似をさせて時計の歌をうたふ。チツクタツクを速かにまた遅く歌ふことを練習したのであるが、リズムを主とした簡単な唱歌であります。

#### 四

かくて九時二十分、二組に分れて何をなすか幼児に豫定をさせます。勿論幼児各自に作業の計劃をなさしめるのでありますが、この實は大部分教師の指導であります。只幼児をして各自になすべきことを豫定する練習をなさしめる所に價值があります。兎に角幼児が各自作業の豫定をなし、それ〴〵必要な準備をなして机につき仕事を始めました。この時保母は優秀なるものに、助手は然らざる組を指導するやうに分擔いたしました。

幼児の作業を見ると雑誌の繪を切抜くものが一人、これは大人の古雑誌であります。小さな皿を紙の上のせて圓をかき、時刻表をつくるものが一人。ごさの上に積木で家などをつくるもの二人、この積木を運ぶに小さな箱車を利用するのも面白いことであります。努力善用の習慣を養ふ上から我が國幼稚園でも是非この運び車を幼児に與へる必要があるやうに思ひました。積木の後始末がよくなかつたり、積木がよく利用せられないのも一は多くの積木を運ぶ車がないからであります。

それから貼紙をなすものが二人、丘、月、木を切つて白紙に貼るので、勿論糊を使用せねばならぬ作業であります。また繪をかくもの、碁盤目の線ある紙（方眼紙でもよい）の枠を塗つて模様をつくるものが十餘人あります。これは塗繪としても色彩觀念の養成には面白い簡単な作業であります。更に面白いのは簡単なカンバスがあつて水彩畫をかくことが出来るやうになつてゐることです。この幼稚園では幼児に木工をさせないらしいのでありますが、紙細工を相當やらせると見えます。かの時計などもそれでありませう。この保育室には運動道具が殆どありません。僅にボールがある位であります。その代り十時十分頃、幼児が皆外套を着け帽子をかぶつて外の運動場に出て遊ぶことになつてゐます。天氣はよいが寒いから室外に出るときは必ず外套をつけ帽子をかぶるのであります。そして十五六分で保育室に入り、靜肅に腰掛けさせた後、分配せられた牛乳とビスケットなどを食ふのであります。これがこのトムソンスクール幼稚園の大要であります。

序にトムソンスクールの低學年を一寸參觀いたしましたから併せてお話しさせよう。午前十時に満六歳児の第一級を參觀したのであります。女教師は三四人の生徒を集めて何か指導してゐますが、他の生徒はそれ／＼本を讀むもの、切つた繪をつき合せて文章をつくるもの、畫をかくものなどいろいろのこととしてゐます。所謂自由學習でありませう。生徒は一組二十五人で内女兒が十八人もゐます。幼稚園が半年相違で、それが小學校の初學年では二組に分れますから一學級の生徒数が少いのであります。自由學習各児の能力に應じた適切な教育を施すには低學年の兒童程数を減少せねばなりませんから、それを實施してゐる譯であります。しかし上級學年では四十人以上の組もあります。が自治能力が相當發達し自由學習の訓練が相當に出來てゐますから生徒数が多くも實際に於ては差支ない譯であります。我が國では一學級が六十人一年の生徒などは七十人も收容してゐる學級があります。がこれとは正反對であります。理想的の廣さをもつた四間に五間の教室でも六十人を收容すると大變窮屈であります。しかし一年二年などは小柄であるから七十人でも收容出來るといふ學級編制は全く室内に生徒を押し込むことだけを考慮したもので教育の成績などを一向に問題にしたものではありません。五十人六十人の兒童を一教室に押し込めて置いてやれ自由學習だとかいつてもそれは空論で殆ど成績が上りません。何といつても教育の成績を上げるには低學年の學級兒童數を現在の數の半分となし學級數を二倍する必要があるま

す。教師を節約せんが爲に澤山の兒童を以て一學級を組織せんとする從來の教育方針を根本的に改善せねばなりません。六十人七十人の幼稚なる兒童を一教師が管理するには勢い彼等の自由を束縛し机腰掛にすし詰となし教壇上より叱飛ばすだけの教育しか行はれません。この不結果を目前にしつゝ尙且つ之を改善せんとは心掛けず幼稚園にまで押廣めて一保姆に四十人五十人の幼兒を教育させることを要求するが如きことは愚も亦甚だしい。是非我が國の教育も教授の方法を改善すると共に一學級の兒童數を大に減少する方法を講ぜねばならぬと痛切に考へたのであります。この一年の教室は全く幼稚園のやうになつてゐます、廊下から入ると右にアメリカの國旗が立てゝあります。そして右の壁は一面に壁黒板となつてゐますがその上に雪景色と雪だるまとの繪がはつてあります。大變上手でありますから多分教師が畫いたものと思はれます。この壁の前にはござが敷いてあります。入口の左も壁黒板になつてゐますが兩側に掲示するに便利な所が残つてゐます。その下に掛圖がかけてあります。入口の突當りは勿論硝子窓になつてゐてスチームが三個所あります、その上には鉢植や窓箱がありますし、またカナリヤが飼育してあります。ピアノはありませんが蓄音器が一臺備付けてあります。この教室の左壁は布張になつてゐて生徒の畫などをはるに便利となつて居り戸棚が二個あつて幼兒の使用する書籍やいろ／＼の用具が整頓してあります。その後が附屬室でこの教室の生徒携帶品置場となり教師机があります。従つて學級所屬の携帶品室でありまた教師室であります。この學級の教室には普通の生徒机は全くなく手工臺と

兼ねた長い机が七脚半圓形に並んでゐるだけであります。二十五人の生徒が自由に學習するに不便がないだけに設備してありますから學習室であり作業室でありまた遊戲室でありいろいろの學校生活をこの一室で營むことが出来る譯であります。全く幼稚園式に小學校の低學年教育を施すものであります。それで手工臺には金鋸や釣鋸等いろいろの道具があり生徒が盛に使用してゐますし、ござの上では積木をして立體表現に夢中であります。受持の教師は勿論女教師であります。がロイド眼鏡をかけ圓顔で若く比較的愛嬌に富んでゐます。教室の模様や生徒に對する態度などから判斷すると先づ優秀な教師に見受けます。十時十分に一應生徒の成績を検した後運動場に出る仕度をさせました。この學校では二部に分れて低學年が先づ運動場で十分あまり遊んだ後高學年が交替して運動場に出て遊ぶといふ組織になつてゐます。運動場が左程廣くないからであります。この一年の生徒が運動場に出てゐる間に大きな生徒(多分校僕でせう)が教室に牛乳を分配して來ました。注意して見ると黒板には一方に *library book* と書いて教室にある兒童用書の目録が書いてあります。また一方には *milk* として次の文句が書いてあります。

Put v when you pay.

Put w when you get your milk.

とあります。一年生であります。が、圖書の出入整頓でも亦牛乳代の支拂等でも餘程まで自治的に行はし

めてゐるものと見えます。

かくてトムソンスクールの二階三階の各教室を一巡して觀たが別に特別教室の如きものはありません。しかし各教室はそれ／＼児童機の排列に於て教師の備品成績品の陳列等にいろ／＼特色を發揮して居ります。それで教室はそれ／＼その學級生徒の國又は洲を形成し各教室は共和的に自治制を以て經營せられてゐることが明白に推察出來ます。共和政府のモデル、さすがワシントン市の小學校ほどであると考へられました。

## レコード豫約募集

我が國幼稚園に於て最初に採用せられたる唱歌をレコードに致しました。吹込者は我が國第一回の保姆たる氏原銀子、膳眞規子兩先生であります。日本蓄音器商會製作のレコードであります。両面一枚金貳圓の豫定であります。購入希望の方は豫め東京女子高等師範學校附屬幼稚園内本會事務所に御申込下さい。

昭和四年三月

幼稚園協會

# 新入幼児をむかへて

及川ふみ

新入幼児を迎へてどこの幼稚園でも何となく希望に満ち、にぎやかな空気があふれております。

三月の末まで小さい組に居た人たちもしばらくの春の休みの間に急に大きくなつた様に見えます。

數十の新入幼児をむかへて受持の保母の骨の折れる事は並大抵のことではありません。先づ朝は少くとも幼児が一人も来てゐないうちに各部屋の掃除をすませまい／＼に登園して来る幼児たちを用意周到にむかへてあげなければなりません。

幼児は入園當座は幼稚園に来るのがうれしい様な又一面には何となしに不安な氣持になつてゐる様です。こんな氣持で幼稚園にきて見ると昨日

と同じ先生がにこ／＼顔に自分をむかへて下さる「さあいらつしやい、繪本ですか、お砂遊びですか、と附添の人から受取つて下さる、そして遊びに誘つて下さるといふ様であると、いままでもつてゐた不安はどこへかいつてお友達の間に入る事が出来るのであります。

これと反對に昨日は何となしに不安で女中から離れなかつた幼児も今日は一つ先生と遊んで見やうと奮發して、幼稚園にやつて来ると昨日の先生のお姿が見えない、がつかりして又その日も附添人の手の中に居るといふ事になります、幼稚園になれた幼児にも保母が早くに幼稚園にきてゐる事



は勿論大切なことでありますがことに新らしい幼児には先づ何よりも朝の最初の出發點が大切であります。

今日は二人今日は三人とだん／＼に幼児が保姆と遊べる様にするのはなか／＼の苦勞でありまして、はばかりへゆく暇もない位でいつも心もからだも幼児からはなれずびつたりと少しのすきもな／＼についてゐなければなりません。

少しなれてやつと幼児と保姆だけでお唱歌の一つ二つ歌へる様になりおはなしの一つ位さかせられる様になると今度はお辨當がはじまります。そうになると又一段と忙しくなります。一人／＼にご飯をよそひ分けたりおかづをほごしてあげたり切つてあげたりお茶をつけるといへ風でまるで眼のまわる忙しさです。保姆は幼児が全部かへつた後二時頃になつてはじめて晝の食事をとるといふ様であります。

それに比べて一ケ年でも二ケ年でも保育を受けたい幼児は保姆の手からはなれて充分に遊ぶことが出来ずすし保姆の方から申しまして小小さい組の保姆の様に細々と手のかゝる事は餘程へつてまゐります。それですから大きい組の幼児も保姆も新入幼児歓迎の意味からも亦小小さい組の受持保姆を助ける意味からも新入幼児を遊ばせたり又自ら面白く遊んで居るところを見せていかにも幼稚園でお友達同志で遊ぶ面白さを味はせ又澤山におぼえたお遊戯をして見せたり面白い唱歌を歌つてきかせたり又は簡単なおもちゃをこしらへてあげたりして小小さい組のお友達をよろこばせてあげなければなりません。

こんなにしますと自然のうちに大きい組の幼児は小さい組のお友達を可愛がり又一方小さい組の幼児たちは大きいお友達をしたふといふ美しい感情もその間に流れる事と思はれます。そうして幼

幼稚園一體の空氣が自然の春と調和した和らなものとなりませう。

こんな意味から考へておもちゃ遊びはほんといよい遊びではないかと思はれます。それについて實際この遊びをやつて見た事について少し委しくかいて見ませう。

先づこのおもちゃ遊びをするのには一ヶ月とか一ヶ月半とか前からその仕事にかゝらねばなりません。幼稚園中のある組の幼児がおもちゃをかへてある組のものは賣れ切れになつて買へなかつたといふのでは可愛想ですし、又折角たのしみに待つたおもちゃがたつた一品だけしかかへなかつたといふ様でもあまりにあつけない事でありませうか。おもちゃの品數は幼兒に二三點づつも買はれる事と幼稚園全部の幼兒にゆき渡る様にといふ二つ條の件のもとに少くとも全園幼兒の二三倍の品數をつくらなければなりません。

この多くのおもちゃを造る事はこれを計畫する保姆も又これを作る幼兒も面白いなにも又なか／＼の骨折であります。けれどもどんなに小さい幼兒たちがこれを樂しみまするかは想像の外であります。この間も山の組でおもちゃ店が開かれ、した時など前日幼稚園のお廊下や各組のお部屋へ開店のビラがはり出されました、翌日川の組のある幼兒は風をひいてお母様はお休みをさせやうとなさると「今日は山の組のおもちゃやさんがあるからどうしてもゆきたい」と。とう／＼お母様にねだりしてまゐつた位です。

おもちゃの種類は色々地方々々によつて考へてつくられると面白いものも出来る事と思ひます。がよく私共のところで作りますものは

鞆 畫用紙やラシャ紙でつくつて肩から下げられる様に紙テープで紐をつける。

鞆にはクレオンで馬をかいいたり、きりがみの

模様などはりつけて飾をつける。

紙入 千代紙でつくつて兩端を毛糸でかざる。

落下傘 なるべく薄い紙質の強いものを繪具で

絞り模様や渦巻模様などつける、毛糸でも

りを吊す。

人形 頭は綿を心に入れて紙でつくり着物は千

代紙でつくる。

籠 織紙でつくる四方の端を折り立て、紙を細

長く切つてつるをつけます。

飛行機 紙でたゝむ（普通幼児がよくたゝんで

飛ばしてゐるもの）

自働車 畫用紙八ツ切一枚位で出来るもの（は

り合せて立體のもの）

フラック人形 昨年幼児の教育に掲載したもの

お面 畫用紙にキユビ、おかめ、桃太郎、犬

猿、うさぎ、金太郎など幼児になじみのある

ものを畫いて眼丈けあけて紐はゴム紐がよい

時計 畫用紙で小さい腕時計

風船 たゝみ紙でつくる。

ヤシロベ 茶色のるんどう豆やあを桐の實で

頭や手をつくり小さく紙の着物をさせる。

木刀 新聞紙でつくる

かぶと 普通のたゝみ紙のかぶとを大きくつく

つて幼児の頭へかぶれる位にする。

風車 普通に色紙の正方形のものを四角を切つ

て造るものや薄い細長い木の反對の兩端に小

さい色をつけてもつて走ればまわるもの。

いづれも幼児が一人で出来る簡單なものであり

ます、材料も數多く點數をつくるのでありますか

ら、なるべく廢物利用式にふだんの色紙の切りく

づや畫用紙のたちぐずなども心がけてとつてよい

てあまりこのために澤山の費用をかけない様にし

なければなりません。

この遊びの外に人形芝居なども大層幼児のよろ

こぶものでありますから新入幼児などはどんなに  
よろこぶことでせう。

最初の頃はお猿が一匹舞臺へきて普通のあとぎ  
ばなしをしてゐてさへもおもしろくさいてゐるの  
でありますから人形芝居と申しましてもごくく  
簡単なものでよいのであります。面倒な兒童劇の  
脚本よりも保姆が簡単なものを作つて人形も二三  
位ではじめは充分であります。

この外小さい音楽會をひらいたり、お遊戯の會  
なども面白いでせうし、又活動寫眞なども見せら  
れるところなど度々して見せればよろこびませ  
う。

x x x

x x x

### 櫻花爛漫

奈良七重七堂伽藍八重櫻

芭蕉

花の雲鐘は上野か淺草か

同

山櫻高く笑はゞちりぬべし

不角

大佛のうしろに花のさかりかな

路通

井の端の櫻あぶなし酒の酔

秋女

山の月花盗人を昭し給ふ

一茶

鶯の輪の崩れて入るや山櫻

丈草

歸るさの夕日櫻や胸に杖

巴人

# 入學以前に於ける幼兒の數的生活 (三)

東京府女師附屬幼稚園 卜 部 た み

## 數觀念の實際指導(遊びの指導)

斯様な題目を書きますと、如何にもむづかしい小學校以上の程度の算術教授が思ひ浮べられさうですが、どこ迄も對照は入學以前の幼兒であり、全く生活全部が遊びの外に何物もない子供の事として、特に遊びの指導と記した所以で御座います。そして眞實に實際は實際であつて文字に書き表はせない所に、價值、味があると思ひますが、是を纏めてみますと次の各項に考へられると存じます。

1. 出来るだけ幼兒の發達階程を調べて是に應ずる事。

2. 環境を整へ遊びの材料を選ぶ事。

3. 興味をもつ操作を發展助長する様導く事。

4. 出来るだけ多く數へる機會を與へ、數へる事になれさせる事。

5. 方法の未分化。即ち遊び全體の中に各幼兒の要求に應じて最も適當の處置をとる事。

先づ第一に子供の發達階程を考へ、即ちその内部要求に應ずる時期を知る事、それを考へない教育は凡そ何時如何なる時代にもあり得ない程、是は當然の事であつて然もなか／＼にむづかしい事と存じます。是は眞の子供即ち日常ありのまゝの子供の生活をみつめる事によつてのみ近づく事が

出来ると思ひます。子供の教育上時期の早いために子供の眞の伸びる力創造性を阻害する事は、時期の遅れた爲に受ける障碍より重いと申します。

此の實例は少なくありませんが、然し又多くの家庭では、早くからのものを教へると馬鹿になるからといふ理由で、或は無反省ですぎ行くある幼稚園保育等に於て、各幼児一人一人に對して最も大切な機會も更に氣附かず、所謂放任にしてゐき、然も大人の都合のために、大人の考へた時期のために、子供の發達或は子供の要求と何等交渉なくして、急に詰込教育の行はれる例も亦少なくないのであります。

次に環境が如何に子供にとつて大きな影響のあるかは今更に申す迄もない事でありませう。よく「此の子供は何も教へないのには是々を覺えてしまひました。字もどん／＼讀みます。數も百までいへます。斯ういふ言葉をよくきく事が御座います。大

人が知らせまい、教へまいとする事でも、子供の發達程度により、眞の欲求から出た事は、是を制止する事の出来ない事實を認める私共は、その要求に應ずる最もよい時期を知ると同時に、いつも子供のために出来るだけ環境を整へ、子供にとつて最も意義あり價値ある材料をあてがふ事を片時も忘れてはならないと存じます。

子供の發達段階を知るといふ事は、同時に子供の興味の傾向程度を知る事であると思ひます。子供が一つの興味をもつた事に没頭し突き進むその意氣は、よく大人を驚かす事實を多く經驗いたして居ります。此の時によく是を見守りその事その時になかるべからざる最も適當な心づかひ指導こそ、よくそれを助長し發展させる事が出来るのであります。

凡て同じ事でありませうが、特に遊びのうちに數へる機會を多く與へ數へる事の指導をしようとする

る事は、決して遊びの中から數へる事即ち所謂算術を取り離して扱ひ切り離して行ふ事でないといふ事は今更申す迄もありません。毎々申します通り子供の生活は遊びか全部であり、決してある教科目で確然と區別される様な、今は算術今は讀方次は理科といつた生活はして居ないのであります。如何にも原始的な混然とした所謂未分科の學習生活であります。よく問題の生活化とか、兒童化といふ言葉をさします、家庭及幼稚園での教育はどこまでも幼兒中心であり、幼兒生活それ自體を對照としていゝ教育でありますから、その遊びを見守り、各個人の要求を満たしていくそこに色々な問題が取扱はれていくのであります。即ちこの間に將來分科されるべき國語教育或は地理、理科教育又は算術といふよりは寧ろ數學教育といはれるべきそれ々の方面の教育の基礎が培はれていくのであります。生活即教育とか生活中心の教

育といふ言葉もさしますが、その點からいふと家庭幼稚園の教育は何れよりも最も理想的であるべき筈と思ひます。それにも係らず幼稚園等で、可憐の幼兒生活を忘れて尋一以上の教育の形だけを摸倣して「今日は勘定を教へてあげませう」とか、今日は櫻の花の觀察をいたします。」等といつた風の無味乾燥の一齊的分科的教授のみを行ふ保育があつたとしたならば、考へなしも甚だしいものといはねばなりません。然もさういふ保育に限つて、子供の生々とした自由遊びの時間が、最も教育的指導の唯一の機會である事を忘れ、或はそれは承知しながらも放つておく事が多いのではないかと思ひます。子供の生活の中に遊びの中に凡ての原始學習の行はれてゐる事を忘れて、分科的に切り離して物を教へる形をとるのでなければ積極的とか或は教育的でない様によく誤り解される事がありますが、そんな時は多くは既に生命の通

つてゐないものになつてゐると思ひます。

例へば砂場に遊んでゐる間に、或は一歩園外に散歩に出たとしても、目によれるあらゆるものが観察の材料であり、ひいては數生活への緒であり又その實際指導になり、又それが國語方面郷土的教育資料となる等、その保姆なり母なりの心づかひ一つで實に豊富に自由なので御座います。又手技を子供がするにしても、豆なり引子竹なり、色紙なりキビガラなり其他凡ての材料の選ばせ方取らせ方等も、指導者の心づかひ一つで教育的に扱はれるのであります。一齊的取扱をし乍ら、何故に子供の管理が亂れるかを考へる事なしにたゞ型の如くに、無意味に子供の兩手を束ねさせ眼を閉じさせて、その間に保姆一人がお膳立した材料を配布し、濟んだ頃に眼をあげさせそこから摸倣的注的的教授を初める等は時と場合にもよります。が、訓育上養護上からみても知育上からみても最

も香ばしくない方法といふべきであらうと思ひます。

この様に幼児の生活をあらゆる機會に教育的に發展せしめるといひましたが、今その幼兒生活の中から特に數的生活に關係ある事項を書出してみます。

○數へる事に關係あるもの。

お八つ、其他の時の菓子等の分配。自分の年齢の表し方。家族の人數、玩具遊具恩物其他自分の所持金品等、家庭内の家具器具、カレンダー、樹木、植木、自分の育てた草花の數等、太陽、月、星の數、木の葉、落花、木の實、石、貝殻、箸、紐、ボタン等、電車、汽車、自動車等の動く物等、建物、階段、小鳥動物の數等其他。

○數へる事に關係ある遊び。

飯事遊び、兵隊遊び、汽車遊び、電車遊び、ブランコ乗り、笹舟作り、積木、折紙、双六、か



るた、トランプ、お弾き、鬼ごっこ、じゃんけん遊び、羽根つき、毬つき、ボール遊び、カード遊び、買物遊び、競技の組分け勝負等。

是等は又同時に數の計算に關係ある遊びともなりませす。なほ其他

音樂、遊戲等の拍子の數、ベルの音、拍手の數足踏の數等は、官感を通して數へる數へ方であり、

恩物の使用によつては色彩、又は平面、立體、三角形、四角形、線等の形體觀念を與へながら數意識を明瞭にしていく事が出來ませす。又描畫、手技製作、工作、談話(言葉)歌等から此の指導に適當のものも亦多くありませす。

次に遊びに依る數生活指導の實際案例として、クレオンの扱ひ、三體つなぎ、積木、カード遊び、ボール遊び、おはじき、羽根つき、毬つき等其他の實際記録を記す筈でしたが、一部分本誌既刊に

載せた事もあり。又文字に表はすとどうも機械的形式的になりがちですから省略することと致しませす。

要するに入學以前の幼兒の數生活の程度を知り、現在の子供としての生活内容を出来るだけ満たし活動せしめ、充分子供らしさを發揮せしめる事が、最も適當の指導であり、そしてそれが結局小學校入學の正しい土臺になる事と存じませす。

x x x

x x x x

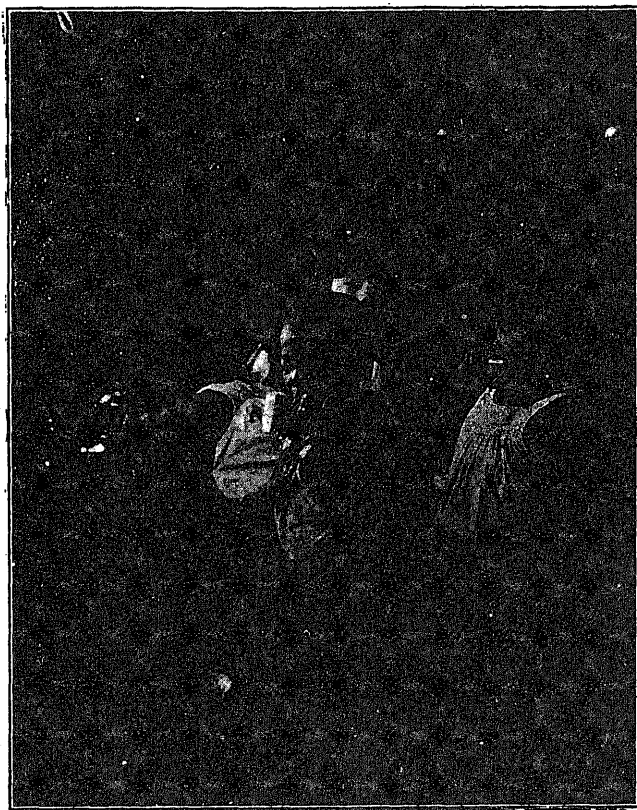
# 日本大學幼稚園に於ける口腔衛生の現況(二)

日本大學齒科ドクトル 水間 盛 三二 郎

## 六、幼稚園のエレベーター

漸く親しみ、顔なじみとなり、手洗も出来、齒刷牙子に依る口腔清掃も行はれ、治療に對し多少興味を感じずるならんと思考するも或一部の園児は未だ年齢僅かに四歳乃至五歳の者あり、一般的に齒科學的處置を施すに多少の困難ある可ければ之に對し一段の入念の意に於て或一日を犠牲に供し園兒全員を一回宛「エレベーター」に乗せたり、先づ五人乃至六人齒科治療椅子の附近に順番に並立させ、先づ其希望者の一人を選びて椅子上に昇せ治療椅子を上昇せしめ「それ一階に上つたでしよ

う」これは三越のエレベーターよ。」何を買ひに行きませうね、何にしませうねお帽子キヤラメル？  
お玩具？ お靴？ お帽子は五階よ、それぢや—  
五階に行きませう」と椅子を上昇せしめ、「どのお帽子が欲しいの？ 之は拾圓よ」と言つてお金を頂戴と手を出せば左手を擴げ右手にて左手よりつまむ眞似をしてお金を渡す様な手附をする、で術者はおつりよと言つて園兒の手に渡す眞似をする、斯くして今度は六階でお汁粉を食べませう等と言ひ、更に一二回足を踏みて上昇せしめ、前述と相似たる方法を施して今度は降りませう、此處は地下室の御出口です、毎度有難ふ御座います、



等々の言葉を勞うて其氣分ならしめて、次の者を  
 變らしめ、今度は多少變りたる方法にて之に接し  
 順次後を追はしめたり。園兒にては今度は私しの

目の治療に際しても之が必要と認めたる兒童に  
 は毎回之を適用し一層の親しみを得可くなした  
 り。

番だくと先を争ふ有様にて間には二回も之を要求する者數多出て來る有様なりき、以て治療椅子に對する親しみを増す可く勉め、更に次回同一方法を以てし殆んど全員に之を施したり、此のエレベーターを行つて以來治療椅子上に乗るをエレベーターに乗る如き氣持にて別に不快や恐怖の念は全くなしに容易に椅子上の人となすを得たり、如斯くして齒科治療に對する準備を着々進め、以て恐怖の念なからしむ可く勉めたり。勿論愈よ治療を始めし時も二回目、三回

## 七、兒童の分類

園兒は最低四歳より七歳に至る兒童に限られ居るが故に、殆んど乳齒齲蝕の全盛期に在り、之を年齢的に分類するの要は全くなきも吾人齒科學的立場よりして齒科的治療の經驗より分類する時は次の三種に別つを得。

- 1、齒科的治療に對する經驗の全くなき者
- 2、齒科的治療を受けしも治術時一回も疼痛の經驗を持たざる者
- 3、齒科的治療を受け而も治術的疼痛の經驗を有し著しき恐怖の念を持てる者

之なり、此の分類に従ふ時は最も簡易に其何れに屬するやを知るを得可く、以て治療に際し幾多の手加減や治術上の參考（例へば器械の種類に依りて著しく嫌惡するものあり、グレンザー、エンデン等の如し）となる事多し。



## 八、治術に對しての注意

治術を行はんとするに際し注意す可き數項あり  
 參考迄に押入せり。

(イ) 話題 話題は最も注意す可きもの、一に屬す、例へば四五歳の兒童なる時は、其頃の兒童の常に見聞せる題材を用ひて可及的短時間中に之を次から次へと轉換せしむ、即ち今三越のお話をして次には劍戟の話し、次は「汁粉のお話し、或は雜煮等殆んど三四十秒乃至一分間に之を轉換して注意を引かしむ可く勉む、『タイ焼』のお話しも、おみかんの話しも結構なり、何れも極めて短篇なるを要するや論なし、然し六七歳の兒童は四五歳の者より多少の加減を試むるを要する、殊に學齡前のものには多少の理屈じみたるものを交互せしむるも可ならん、或は寧ろ動物園博覽會等の話題を用ふるも可なり。

(ロ) 器械 先づミラーとピンセット及び綿花球を用ふるを最初試みざる可らず、始めより銳利なる器械を用ふるを謹しみ、先づ綿球にて齒牙表面を拭去し無痛的なる信用を博するを要す、次でエキスカペーター又はエクスプロラー等を用ふるを得るも、之亦最初珐瑯質面を擦過して『お掃除をした、さあウガイをして!』と含嗽せしめ次に尖銳なる小さきエキスカペーターを用ひて軽く之を使し軟化象牙質の除去に就く、軟化象牙質勿論出來得可くば多少共乾燥せる時は操作容易なる可し、とは雖も時々洗滌含嗽等に依りても兒童の思索を轉換するを要する、其都度窩洞を綿花にて拭去し唾液の貯留を防ぐを要する。

(ハ) 藥品 藥物の貼布に際し綿花に浸せる藥物の過量なる時之が窩洞より滲出し不快味乃至シ辛辣なる爲め泣出す事あり、或は綿球に藥物を浸す時ピンセット等に附着したる藥物の兒童の口唇

等に附着し、或は舌等に藥物を貼けて兒童の號泣する事あれば、之に對し充分の注意を要す。更に窩洞内に藥物を貼布し「ストツピング」等にて封塞する後咬合壓に依りて藥物の浸出の爲め齒科治療を嫌惡するの傾あれば注意を要す。

(二) 操作 窩洞を直視せんが爲め口角を強く索引し、或は舌に強壓を加へる如きは謹しむ可き事に屬す、或は防濕用綿圓嚙等の餘りに大なるを挿入する時は、治術野の視野を防げるは勿論、患者は著しく口中の自由を失ひたるの感にて不快を訴へるに至る可し、特に注意す可きは氣銃の使用である。酒精燈又は瓦斯火焰を用ふるなれば一種の恐怖を感じ夫のみにて泣出す事あれば豫め熱くなき事を豫想せしむ、決して熱くないと言はずに熱くなき様子をなす、例へば指尖を火焰の熱くなき場所にかざして後無言の儘次の操作を成す如し、然る後充分なる注意の許に氣銃を使用するを

要するを要す、ストツピング適用に際しても同様の注意を要するや論なし、夫等の操作は殊に幼年兒童に對しては可及的迅速ならざる可らざるものとす、齒科用エンチンの使用に際しては決して疼痛を與へざる可く、殊に幼稚園等にて使用する時は別段の注意を要す。之に依りて一度たり共疼痛あらば深き印象となりて残り回復するに極めて困難なるは吾人の常に經驗せられし處ならん、齒科用エンチンの使用に於て兒童が治療の無經驗者なる時は、最初珫瑯質面に適用し知らぬ顔にて一回含嗽せしめ次に再び適用し皆んなは之を喜んで使はせるよ、「ブカ〜ガチャ〜ガラ〜」言つて面白いだらう」等の言を以てし、或は其時は歌等を用ひて之をマギラスを要する事あり。

(ホ) 治療及充填 多數の至急に處置を要する齒牙の存しても、最初は以上の諸點に注意し第一回は口腔清掃を以てせり、次で第二回に及んで先

づ治療を始め、軽度齲蝕の充填第三第四と回を重ねるに於て漸く多少共齒科的治療に患者の理解するに及んで、急を要する抜歯に取掛るも普通治療充填の處置の全部修了せる後抜歯を遂行するを法とせり。

### 九、活動寫真會

活動寫真會は、之をライオン齒磨口腔衛生部に囑託して行へり、何にしる最初の試みなりし爲め黒カーテン、草履には數日を費せり、入場券はライオン齒磨口腔衛生部にて美麗なる色刷にて送附されし故大に助かりたり。

入場券の配布區域は第一に園兒及家族、知己に之を配布し、近在の小學校に對しては訓導の監督の許に團體入場にせり、講師兼映畫説明は同部の佐藤昌朝氏慣れた流暢な明るい親切な説明であつた、入場者約六百を算し、場外運動場等に溢れ居

りし有様なり、之に依て園兒及び小學兒童に非常に深き印象を與へ、現在にても時折其事を口にする兒童あるを見る、齒に關する活動寫真會は一ヶ年一回宛位は何れの學園又は小學校にても催して宣傳し印象附けるなれば齒牙に關する知識や口腔衛生の必要が最も早く徹底する事と思考す。

### 十、齒刷牙日記

ライオン齒磨口腔衛生部の考案に成る用紙を用ひて、齒刷牙日記を實行せしめつゝあり、何しろ園兒が年少なる故に唯持歸らせるのみにては無駄となるを恐れ左の意の文を附して保護者に送附せり、  
 △兒童のなしたる朝夕の口腔清掃を必ず記入して頂く事、記入は懸引なく正直にして頂く事、實行されし時は必ず○印、然らざる時は△、決して強制的ならざる事、等にて昭和三年十二月朔日より實行して頂く様通告せり。

其成績を見るに全體として殆んど満點に近く或

者の如きは朝晝夜毎日三回一ヶ月に僅々三個の△を發見せるの状態なり、其保護者に質問せるに現在にては殆んど習慣性となれ共、時折忘却して寢に就ける時、今晚は齒刷牙日記は△かい？と言へば寢い眼を擦り／＼起きて清掃するの状態にて時として疲勞せる時は可愛想なりと思ふ時ありたりと。

## 十一、ポスター

園内に種々の齒牙又は口腔清掃に關するポスターを掲示するは誠に良い方法の一なれ共、同一ポスターを長期間而も同一場所に掲げたるのみにては眼に慣れて殆んど感じなくなるの恐れあれば、週日又は拾日位に一回宛の割合に取替へ、掲示する數も普通幼稚園にて二枚位最も適當ならんと思ふ者である。左に一二のポスターを參考迄に掲げ

たり。

## 十二、第一回定期口腔診査成績

第一回定期口腔診査を昨年五月に舉行したり、然れ共年少なる園兒の或者は診査を嫌惡して口を開かざるのみか、別室の机の下に隠れて出て來らざるの状態にて、全員悉く之を實行するを得ざりき。診査を拒し數名の者も三四ヶ月過ぎし九月には結構診査を成さしむるに至りたる事は、一は顔なじみになりて慣れたると他の者の治療を成すを拾數回も見聞して多少共恐怖の念の去りて、寧ろ却て羨望の念さへ浮ぶに至りし結果ならんと信ず。

口腔診査成績を見るに八十八%の齲蝕罹患者を示し、四十五・六%の齲蝕罹患齒數を示せり、之に反して六歳臼齒を見るに其一五、一%の罹患齒を發見せるのみなり、而も其程度第二度を越へたる



者は僅々數本に過ぎず、之れ恐らくは、(イ)、第一大臼齒が乳齒の位置を繼承せざる事、(ロ)、出齦後間もなき事、(ハ)、第二乳臼齒のデンチュアに於て最後に位し其遠心隣接面が比較的他の部より清潔に保たれ易き事、其他の理由に依るもの非らざるなきか？

乳前齒に於ては齶蝕罹患殆んど同様隣接面より起りて大破せられたるあり、殆んど侵されざるあり、殆んど侵され居らざるものに在りては、毎常年齡相當各齒間の空隙相當なるを知れり、勿論大破せられたる者たり共綜合するに相當の離開の存するあり、概して上顎前齒の罹患せるもの下顎より多數であり、且進行せるを見たり。臼齒に於ては上顎とり下顎第一及び第二乳臼齒最も多く侵され、進行の程度も著しきを知るを得たり。

### 十三、治療成績

昨年六月初旬より毎週一回宛午前中を利用して昨年十二月末迄の治療成績次の如し。

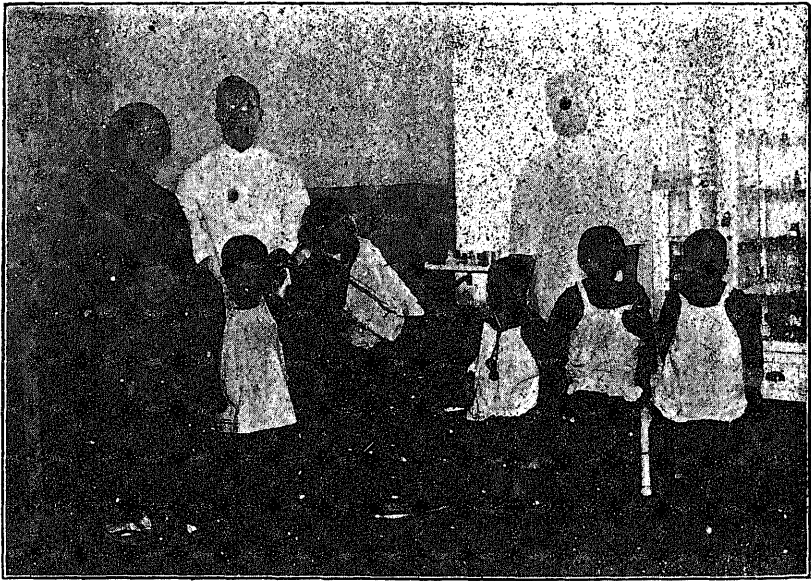
(イ)	口腔清掃	三一人
(ロ)	豫防的處置	六齒
(ハ)	治療	九二齒
(ニ)	覆罩	五齒
(ホ)	ゴム充填	三八齒
(ヘ)	セメント充填	四一齒
(ト)	銀充填	八齒
(チ)	抜齒(乳齒のみ)	七齒

以上

### 十四、現在の狀態

治療日に幼稚園の門を入れれば必ずや二三の園兒に出逢ふ、或者は曰く「先生今日は齒を抜いてよ！」と注文するあり、時には「齒の先生が来た！」

「水間先生が来た」と全員に振れ廻す者あり。亦或



時は「先生今日金を詰めてよ」とせがむ者もあり治療室に入りて更衣中等に年少の園児入り来りて「あたし齒を磨いたのよ、昨日も、その前も磨いたのよ」と報告するあり、二三の兒童は「今日は僕が先だよ」と既に椅子に乗りて待てるあり、現在にては全く以前話したりし「桃太郎さんのしくじり」等のお話を忘れて、僕の顔を見れば直ちに齒の事のみを聯想して、何か文句を並べ立てる状態である。

勿論治療に際しても誰夫さんと呼べば何の苦も無く来りて椅子に乗りて口を開けて待つ迄に容易に處置を施し得るに至れり、齒科用エンデンも使へば注射抜齒も施して不平の來りし事殆んどなし、唯茲に特に骨の折れるは新入園児に對しては注意に注意し漸進的に進行す可くせざれば失敗するの恐れあれば、之に對し特に術者は神經過敏となり居れり。

總括

- 一、幼稚園に於て齒科的處置を施すには一週一度乃至二度にて適宜手廻しせば充分なりと信ず。
- 二、最初の二ヶ月位は出來得る限り所謂前準備に最善の努力を成し深く印象附けるに苦心せざる可らず。
- 三、幼稚園の母の會又は保護者會には必ず出席して其父兄に對し充分なる口腔衛生の必要と理解を得可く努力す可き事亦肝要なり。
- 四、齒刷牙子に依る口腔清掃を特に鼓吹するは最も普遍的に最も容易に且有効に、無痛的に寧ろ興味を持ちて成し得可ければなり。
- 五、顔なじみとなり、親しき友であり、良き先生である可く、凡てに細心の注意を要するや論なし、最も記憶力、想像力、人真似の優れたる時代の者の集りなればなり。
- 六、治療に際し最初無痛の仕事より始むるは兒童の信用を博するに於て肝要なり。
- 七、操作、言動等に於て決して粗暴なる可らずとなす。
- 八、活動寫真會は少く共年一回之を試みるを要するものと信ず。
- 九、齒刷牙子日記亦利用して良成績を博し得るのみならず、兒童をして習慣性となさしむる點に於て最も意義あるものの一と信ず。
- 十、口腔状態と體重、身長等との比較は今後細心の注意の許に研究して最も價值あるものと信ず勿論全身的他の状態にも注意を要するや論なし例へば廻蟲の存否等の如き之なり。

# 岡山訪問記 (承前)

## 一 保 姆

### 六、農繁期托兒開設

岡山縣下の現在幼稚園数は七六園で其の設立の状態を聞けば、大正十年には僅かに二六園であつたのに五年後の大正十五年には六二園即ち五年間に三六園、平均七園強の割合で増設せられ、更に幼稚園令發布後一年半には十四園も増設され今又設立準備中のもの多數あるとの事である。かく幼稚園の普及されてゐるのみでなく、毎年、田植、蘭刈、刈入れ、の三期を、農繁期と稱し、縣、市、幼稚園からの指導應援の下に、郡の婦人會、女子青年會等の協力に依て、神社佛閣を臨時園舎とし

て、農繁托兒所を開設されてゐる。かような社會的施設に就ても、縣市の園長先生保姆各位の經驗あり定見あり而も熱心懇切な御指導される事は實に敬服の至りである。

### 七、各園の實況

岡山驛へ着いたのは午前五時十三分、まだ四方はうす暗い。トランクをさげて待合室に入る。掃除がとゞいて氣持がいい、朝の仕度をすつかり整へてしまつても短日の曉はなかく夜を脱しきらない。待合室のソファに暫く憩ふ。やがて七時になつた。親切な電車の車掌さんに道を教はつて東

田町の市立深抵幼稚園に着いたのはまだ七時半にならなかつた。當番の保姆の先生も一人はもう來ていらつしつて何かと應接をして下さつた。

(1)、市立深抵幼稚園

敷地六〇〇坪、園舎三〇七・三坪、保育室五、遊戯室一(八〇坪)、應接室、幼兒休養室、保姆室、使丁室、辨當保温器及器具室、

幼兒數 二一六 保姆 五

組數 五(大多數一年保育兒)

家庭との連絡

入園前(入園身體検査のすんだ後)及入園式後或は全體的に或は數人づゝ個人的、懇談的に、保護者の會をひらく。毎學期一回實地保育參觀其他保姆と母姉の打合會をする、唱歌遊嬉會、幼兒製作品展覽會、三月、五月節句、玩具會(家庭で最も好む玩具を持ち寄せ一日はそれで遊ばせ、一日はそれに就ての話をする)一等に母姉を招待す

る。毎日幼兒の持參する通信簿には出缺席のしるしの外通信欄があつて、各自の通信をする様になつてゐる、なほ一週一回の兒童相談所には幼兒の心身に就きての専門家が來園され、母姉保姆共によき指針を得るとの事である。

保育内容

ほどなく見えた(八時前であつた)園長先生と應接室でのお話をすませて廊下に出る。廊下は巾廣いたたきで保育室及遊嬉室の周圍をめぐつてゐる。遊嬉室は別棟で、園舎の中央にある、柱ない八角の室には一間程の大きな洋畫の額がある。掃除の行き届いた南向の庭には、池に龜が居り、夜は金網の外圍に木の戸を閉ぢるように出來た一間程の高さの大きな鳥籠に、數種の小鳥かとびまわつたり唄つたりしてゐる、高い滑臺の下の空間を利用してブランコが出來てゐる、たくさん竝んでゐる鉢には球根が、ほんのわづか芽を出してゐる。

上にやわらかいわらがのせてあるのを、そつとかきよせてのぞいてる幼児がある。木は大方若木ではあるが園舎をめぐる多種植えられてある。二百人の幼児にとつてはあまり広い方ではないが、東南に面したこの庭にはよく日光があたる。登園して各自通信簿にしるしの紙を貼るとそのまゝ室で遊ぶのは殆どなく皆庭に出る。けたまひしい時鈴に脅される事もなく、おさまりの會集にお口を結ばせられる事もなく、お友達と玩具とそして遊びから遊びへと、うごいてゐる。郵便屋遊をする時のやうな小窓のある小さい衝立が庭の二箇所に出てゐる。これは幼児が思ひのまゝに器具の室から出して來たのである。切符の賣り手が三人位づゝ中に入つてゐる。庭にある小さい臺の上で五六人が「何處行」と云ふ切符を鉛筆で書いてゐる。箱積木で出來た汽車には、お客様(女兒多數)がいつばい乗てゐる、手頃の板を紐で首から吊り

種々な形の積木をお辨當やお菓子にして、停車場の物賣りになるもの高い滑り臺を下りては乗車し下りては乗車してゐる。何時といふ事なく一組は室には入て千代紙を作つて居られた。大きな遊嬉室の傍に奥行はあまり深くない間口一間程の積木の棚がある、そこには長短、厚薄様々の板、太細長短多様の丸太、穴のあいた箱、棒、真中に穴のある丸い木(車の輪に使はれる)長さ五寸程の徑二寸位の圓筒、種々な形をした木片等多種多様の積木がある。どれも角の圓くなる程使はれてゐる、幼兒はこの棚のうちから遊ばふとする事に使用し得るもの工夫し得るものを自分で又友達同志相談しながら選擇して行く。その日には長さのそろつた圓筒を停車場構内のさくとして、積木の汽車の兩側に長くならべてあつた。穴のあいた箱(それは保姆の先生方がお家で手ごろの空箱があつた時、それに穴をあけ御自分でエナメルで着色され

たものであると一に棒を通し輪をはめて車を作りそれに他の木片を入れてひつばつて行く幼児もあつた。構内のさくにしてある圓筒はマツチ工場で出る廢物であると園長先生の話であつた。なほ此他玩具の研究に意を用ひて居られる當園では、或はサイダーの栓を二つあはせて中に小石を入れて色紙で封じたもの、(これはままごとのお菓子やお人形のおもちや等に使はれる)小さい板に果物を積んだ様に塗たもの、又は少し大きいのに、レンガを積んだ様に塗たもの、これ等は皆園長先生はじめ保姆の先生方が常に心がけられて、板を集め御自身で採色描畫されたものであると、其他寫眞のフィルムをとつた後の心棒は厚紙製作の飛行機や車に、使用されてゐた。後にみせて下すつた奉祝ダンスの時使ふもしく色と水色の總のついた輪は、汽車の切符の截ちはじ、赤と青の細長い厚紙を利用して同じ色の紙テープで巻き、巾を細く切て總

としたものであつた。之等の數多い廢物利用は園長先生はじめ保姆の先生方が、日常あけくれのまらゆる機會に於て幼児の爲に意を用ひて居らるゝ貴い賜に外ならないのであつた。又布製のお人形(保姆の先生方御自作の)には澤山のお布團があつたので承ると、これは各兒が家から一枚づゝ持て來たのであると。お人形を座らせたり自分も敷いたりして、陽あたりのいゝ庭の御座の上で一團の女兒は、ままごと之餘念なかつた。何かお話をとお求めのままに、東京からの汽車の窓からのお話をすると、お畫すぎに「さつきの話の畫」と云つて男兒達が汽車やスキーを背負て山へ昇て行くのを畫かれた。豊富な玩具による幼児の豊富な遊びは、むきにあきてこの道からあの遊びへとうつる事はあまり見えず、一つの遊びを長く、發展的に幼児同志の相談又は一寸とした保姆の先生の助言によつて、續けられてゐた。お畫になると、園長

先生も一組擔任して居られるのでお机を拭いたりお盆を出したり、幼児と一處にお辨當の用意をされた、お辨當は、器具室に大きなオブン(天火)の様な保温器の中に入れて大層よく暖まつてゐた。序に暖房に就て述べれば、出来る丈多く窓を取つた保育室は殆ど内と外と大した温度の差がない程である、それに各保育室に四角い木の火鉢が一つだけ、然し陽あたりのよい、風の無い、長閑なこの園内では誰一人寒さうに火鉢によつて来るものはない皆元氣に外で遊んでゐる、停滞した温い室の空氣ほど氣持も悪く健康にも悪いものはない。幼い皮膚を新鮮な外氣で鍛へ得る木造建築の得點を今更のように感じた。保育室は十二坪幼児數から見ても少しせまい。が腰のひくいよりは出し窓があつて、書院のような處に繪本、小さい積木、廢物利用の玩具類が乗せてあり幼児の好むままに用ひられるようにしてある。室内の机は固定した位置にあり

椅子は一人一人回轉椅子で伸縮自由になつてゐる。「面白がつていたづらをしませんか」と伺つたら「はじめによく約束をして、自分の丈に合ふように、自分でまわし、出来たらあとは、おもちゃにしない事にきめてある」とのお話、私も終日この園に居てもどの室でもさういふ幼兒を一人も見なかつた。「先生!」と云つて一人の子が、私達が鬼ごつこをする時たんまをする手つきをした、先生は「はい」と云てうなづいてお見せになる。その子は急いであちらに行つた。あとで園長先生「よく子供はいろ／＼の事を私達に教へてくれます、今の符合も或時幼兒が、先生停車場に行くと、かういふ字(たんまの手つき、拇指と人さし指で輪を作ると三本の指がW形になる)が書いてありますよ、だから手でかうすればW.C.の事になる、とそれから、この符合を用ひるようになりまして」と話された。「汽車が出ましたね」幼兒は急いで



鼻をきれいにする。かうした小さい所にまで園長先生のお母様らしいお心づかひが届いてゐる。午後男兒は紙凧を作つた、日本紙に思ひ／＼の繪をかいて徑一分程の太いひごを骨にして裏から十文字と斜線にわたし、日本紙で所々はりつける、この凧が作られる前數日、凧あげの繪や畫用紙の凧のきりぬきや様々の凧が作られいよ／＼本當に上るのを作る事になつたのであると、の事である。次の日、用事があつてこの園の玄關まで來たら庭の向の方で昨日作られた凧に尾がつき糸をつけて高くあげて走る幼兒の姿を見た、この日かへりに二組は表の玄關でない次の小さい門から歸つた、二百人もの幼兒が一口から出ると混雜するからとの事であつた、小さい門のそばには栗の若木がたくさんあつた、これは照宮様御誕生のお祝記念として植えたのであると、其他園舎の周圍に果樹花樹の若木がたくさん植えてあつた、園長先生の

園に對する永遠の御計畫を貴いと思つた。此園の幼稚園行事といふ印刷の中に觀察曆が出てゐる。『先生、觀察々と近頃とり立てゝやかましく申されてゐますが、どういふ様になさいますか』と伺ふと「郵便局へても工場へても一處にまゐります、出来るだけ小人數づつ、先方でもよろこんで説明して下さいます、歸つて來てそれ／＼の遊びに製作にその印象が表れます、五月頃皆でし、み取りに出かけます、その時はお母様達も一緒に行きます、あつた／＼」と掘り出した時の笑顔、机の上を買つた貝をいくつならべたつてこの氣持は出ません、どんな所にどうしてゐるか説明してもこの實感には及びません、室の中机の上の觀察は幼兒の觀察ではないでせう、とり立てては致しません、園外保育や日常生活の實感のうちによい觀察が出来るのではないでせうか」と大に同感であつた。

この園で感じた事は、先生方の日夜絶えざる御努力と、あの多數の幼児が一齊保育でなく、幼児お互の遊び、お互の交渉が自然に、落ちついてしかも元氣に子供らしくたえず、くり／＼と發展充實してゐる事である。今一つは幼児の個性觀察、でゲーム、遊戲製作あらゆる機會に、個性を觀察する事にとめて居られる、その遊嬉の振りを練習するのでなく、その遊嬉によつて幼児一人／＼の傾向が發露されるように工夫して居られる。願くばわづか一日でなく時を得てせめて一週間も參觀が出来たらとそれのみ残念であつた。二夜の汽車に疲れてこの日は直に宿で休養した。

二日目の朝、縣立女子師範に行く幾百年前からそのまゝといふ講堂を御案内下さつた先生が見せて下さつた。紫式部の繪に見るような書院窓をめぐらしお宮のような深い屋根、天井もあまり高くないとみえて室内は少し暗い感じがする。然し古

木の板にかゝれた古い「講堂」の二字は熊澤蕃山先生はじめ多くの學徒を世に送つた貴い歴史に輝くように思はれた。傍にはいてふの古木の様なゴムの大木がそびえてゐる。南日本といふ感じもする。つく／＼と見あげ、見とれて朝の一時をすぎす。それから師範の校舎にそふて行くとまもなく花壇がいくつもある處、こゝから幼稚園と、こゝで御案内いただいた先生にお別れする。そばのプランコに三人ほど乗つてゐる、「おはやうございませ、幼稚園のお玄關につれて行つて下さいな」一寸はさまりの惡かつた、とく子さんすみさん達私を案内して下さる、芝の山空の川丸木をあつめて造つた橋、鶏小屋をまわつてお玄關に行く、廣い廊下のつさあたりの應接室で主任の先生にお目にかゝる、昨日探抵幼稚園で園長先生に叔母様のようななつかしさを感じた私は、今日またこの主任の先生に姉上のような親しみを持た。岡山と

新刊

長尾 豊著

幼稚園ばなし第二集

いふ所は何といふいい所だらふ。品位あり落ちついた奈良に似て今少し活氣もある町の様子、築地の塀が長くつゞいてゐるところなどは、古き日本といふ感じがする。オートバイの爆音、自働車の警笛、工場の笛、右往左往の目まぐるしさ大都市の雑然さは影もない。

町に、人に、岡山は何といふあくゆかしさのあふれたところだらふ。かういふ所に住んだら私のような者も人間らしくなれるかしらなどと思ふ。扱附屬幼稚園の事を次に記します。(以下次號)

x x x

x x x

さきの著「幼稚園ばなし」は童話ばかりでした。

この第二集は「朝のお話」「食後のお話」「お話の一、二、三」として訓話や自然界の話を集めてあります。

幼稚園時代の子供のちはなし材料としてのみならず、話の研究並びに親切な研究手引として好著(東京市麴町區下六番町四八 厚生閣書店發行、定價一

圓八拾錢)

# 紐置き遊びに就て

嵯峨にて 膳 眞 規 子

幼児の衝動を満足せしめますには、玩具の必要なる事は申す迄もなき事で御座います、紐は何れの家庭にても得られ易く又購求致しますすにも價の至つて廉にして、玩弄上にも危険の恐れなく、幼児の思ふまま好むままに自由に工夫を發揮せらるる最も良き材料で御座います。

斯く申す良材料の紐置きも前年幼児に試みました處其使用法の誤れる爲めに、幼児が一向に此紐置き遊びに對して興味を惹起致しませんでした、幼児の玩具に使用せず居りました處、計らずも倉橋先生より之れに對する有益なるヒントを與へて戴きましたので再び幼児に此紐置きを弄ばせる

事になりまして、爾來幼児教育に最も興味深く使用致します様になりました事に就て述べさせて戴き度いと存じます。

紐置き遊びを幼稚園に使用致しました事は随分古き頃より使用致して居ります、(明治十九年頃)其頃は幼児に玩弄させますが一向喜びませぬので終に知らず識らずの裡に使用せぬ様に成つて仕舞ました。

大正元年大阪西區保育會へ初めて倉橋先生に御來會を乞ひ幼稚園教育に就いて御講演を願ました。其後度々御來阪を願つて居りますが、最初の御來講より續いて例も其聽講者は、近幾は申す迄

もなく随分遠き處より來會されました有益なる先生の御講演に眼醒めさせて戴きました。此時先生の雜談中に、紐の御話が出まして、紐を幼兒が持つて遊ぶに下に置いて遊ぶ事と今一つは宙に繰や釣つて遊ぶ事と兩様あり、如何に工夫して遊ぶや

觀察の上之れを、手帳にも扣へ置いて研究すれば随分と面白き型を種々得られんと仰せて御座いましたので私は一つ觀察して其工夫せる型を扣へて申上ませうと御約束申上しました。さて私は先生に御約束申上しましたものの、前年幼兒より興味を以て歓迎されざりし爲め葬つて仕舞た手技の兎ても觀察したとて好成績を得る事は到底駄目と存じました。其後は多忙に取紛れて斷然此觀察を忘れて仕舞つて居りました。翌年四月大阪市より、東京市幼稚園の視察を命ぜられました上京致しまして先づ第一番にお茶の水幼稚園を有益に參觀させて戴きました。此時倉橋先生に御目にかかりたる際

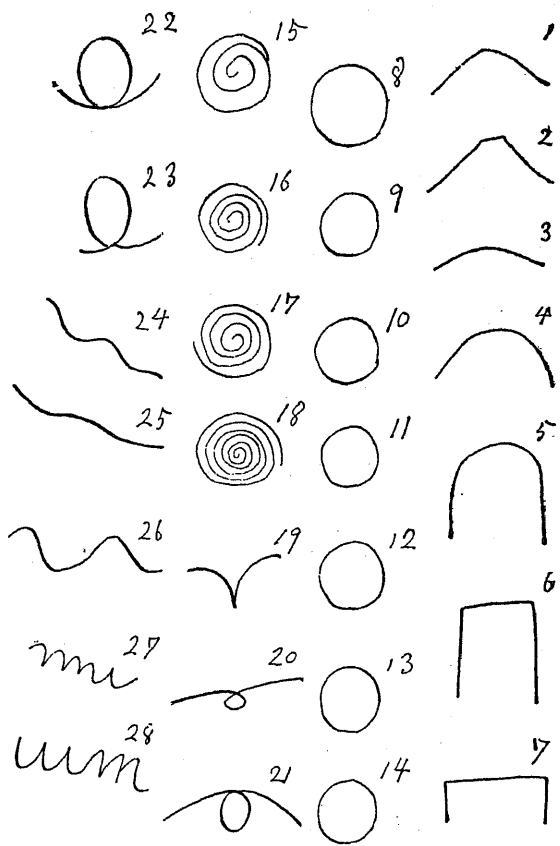
に昨年御約束申上しました紐置き遊びの事に就て悉皆打忘れ居た事を思ひ出しまして御約束を實行致さなかつた事を今更恥かしく申譯なく存じました。此時は唯黙して歸阪いたしました。

歸阪早々幼兒に此事を話しまして私は先生に御約束をして置いた事を悉皆打忘れて仕舞つて誠に恥かしかつたと申しまして幼兒に紐を持つて種々と工夫して遊んでくれる様に依頼いたしました處が、幼兒等はいと元氣にはい宜しいと力強く返事をしてくれました。此時私は何とも申様ない氣持よき嬉しさを感じました。此時用意して置きました紐、太さ小指程丈け一尺八寸程の赤い美しさも一本づつを與へました。此時(端午の節句の二日前でした)市内の空は所々に鯉幟や吹貫が風を含んでさも勇ましく吹き昇つて居ります時で御座いました。一人の子供は其紐を直ちに机の上に眞直ぐに置きました隣の幼兒に君僕の置いた棒——に鯉を付けてくれ

と申ました處、隣席の幼兒は(ヨシト)直に其の棒に紐で鯉を作り付けました。又隣の幼兒に鯉を付けよと申して次へ次へと三人まで段々に續けて付けました。此鯉の事は一例で御座いますが、其他種々なる簡單なる敏捷の幼兒の表現には大に驚きました。前年には一向に歓迎せざりし此紐置き遊びの斯く迄に興味深く殆んど全我を没頭して遊ぶと言ふ理由が分りませんでした。丁度折良く檜崎先生の來園の機會を得て見て戴きました處先生は成程幼兒は何れも興味を以て愉快に遊んで居るは全く此玩具の適して居るからで凡て幼稚園にては幼兒の興味を惹起する程の玩具を興へねばならぬと幼兒の愉快に遊んで居ります事を御褒め下さいました。

昔此紐置き遊びに幼兒達の興味を以て遊ばざりし原因は全く保姆の誘導輔導のよろしからざりし爲めならん、それは當時心理學や教育學の現今の

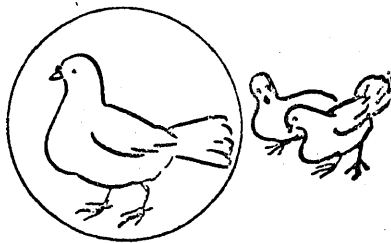
如く進歩もなし居らず殊に兒童心理學に至ては尙更の事なりし故幼兒より自發的の表現を學ぶと言ふ様な事は更になく主として保姆中心主義の時代にて凡て大人感を以て幼兒に對し幼兒を中心主義とせざりしによる、然るに現今の保姆は教育學は中すに及ばず兒童心理學を盛に研究せらるる結果先以て凡てを幼兒の自發的表現を學び萬事幼兒中心主義を尊ばるる様になり來たり斯道發展上慶賀の至りなりと仰せられました。依て昔紐置きの幼兒に興味を有せしめざりしは保姆の中心主義を以て幼兒に従はしめて幼兒よりの自發的作用を取らざる自分の修養の足らざる處より興味深き幼兒の自發的表現を誘導なし得ず徒らに無意義に葬つて仕舞つた事を今更らなから申譯なく存じました。實に倉橋先生より有益なるヒントを興へて戴き此紐置き遊びを有益に使用出來る様になりました事を厚く感謝いたします次第で御座います。



- |                         |          |          |                    |                    |  |                               |                    |          |                   |         |                        |                   |              |
|-------------------------|----------|----------|--------------------|--------------------|--|-------------------------------|--------------------|----------|-------------------|---------|------------------------|-------------------|--------------|
| 27、<br>横<br>文<br>字      | 25、<br>鰻 | 23、<br>た | 21、<br>電<br>氣<br>燈 | 19、<br>鳥           | 17、<br>う<br>づ<br>ま<br>き<br>パ<br>ン      | 15、<br>蝸<br>牛                 | 13、<br>風<br>船<br>玉 | 11、<br>鏡 | 9、<br>お<br>月<br>様 | 7、<br>机 | 5、<br>ト<br>ン<br>ネ<br>ル | 3、<br>土<br>橋      | 1、<br>山      |
| 28、<br>英<br>語<br>の<br>字 | 26、<br>波 | 24、<br>蛇 | 22、<br>桃           | 20、<br>飛<br>行<br>機 | 18、<br>神<br>官<br>の<br>坐<br>る<br>圓<br>座 | 16、<br>時<br>計<br>ゼ<br>ン<br>マイ | 14、<br>輪           | 12、<br>お | 10、<br>お<br>盆     | 8、<br>毯 | 6、<br>門                | 4、<br>そ<br>り<br>橋 | 2、<br>富<br>士 |

當今野繁托兒所が盛に成り居りますが、何れも玩具の事に付て御尋ねを受けますが、其都度紐を御紹介申上げて居ります。此紐置き遊びを幼児がいたします下に置いて（机上又は疊の上）遊びます方の圖型は記載する事が出来ませんが、宙に於ての繰釣りに遊ぶ方は面白く興味多いもので御座います。但し記載する事が出来ませんが、下に置く幼児表の種々なる面白き型は扣へて有りますが數多くして枚舉に遑あらず茲は省略する事にいたしました。尙同一の形を表はしましたが、幼児各自の腦裡にて各名稱の付け方が異なり居ります事は非常に興味深く觀察致します事で極簡單なる現れのみを二三種御覽に入れます事に致しました。

（一尺八位の寸紐にて現はしたるもの）





## 踊と幼兒教育

水島 さゆり

## 一、自然は踊る

灰皿に置かれた吸ひさしの煙草の煙が、空氣の

ほのかな動きに連れて、ゆるやかに揺れて、流れて、なだらかに、おもむろに、面白く空中に描き出す微妙な動きの美しさを、私は嘆稱する一人であります。

春風に吹かれて、可愛らしく、かぶるかぶりを振る黄水仙の小首、「やれ打つな蠅が手をする足をする。」一茶にあはれみをかけられた蠅の手足の、あの洗練された運動、古池に飛込む蛙の颯爽たる姿、大空に輪をかく鳶の悠然とした態、流れのま

に、あや織りみだる水底の藻のしなやかな踊など、自然界の森羅万象は何れも驚嘆に値する舞踊の名手であります。

今は亡くなつたイサドラ・ダンカンといふ婦人は、前にも後にも世界にたつた一人の名ダンサーだと謂はれてをりますが、其のダンカンは誰に學び、誰に習つたかと言ふと、一にも自然、二にも自然、風に吹かれて地上をころがつて行く木の葉の動きを學び、のびて、ふくらんで、起きて、崩れる大海の波の動きに倣ふといふやうに、ダンカンは自然の動きに心を打込んで、遂に舞踊の眞髓を會得したのださうであります。

嘗て露西亞のダンサーのバツロバが日本に来て  
瀕死の白鳥を踊つたことがありました。それを見  
てゐた私は、何時の間にか太古其のまゝの森の中  
へさまよひ込んで、捨てられた一面の鏡の様な池  
のほとりて、今や死になんなんとする一羽の白鳥  
の、悶えと苦しみとをしみ／＼と見てゐるやう  
な、言ひやうのない淋しい心持に沈んだのであり  
ました。白鳥の靈がバツロバの四肢五體に充満し  
て、其の瀕死の面影が美しい藝術として現はれた  
のでありませうが、バツロバは誰にあのダンスを  
學んだのでありませうか。

私は又壽美藏等が秋の蟲を踊つたのを見たこと  
がありました。背景は枯尾花が二三本の、見るか  
らに荒涼たる晩秋の野でありました。月影と八千  
草との涼しい世界を我がもの顔に、美音を誇つた  
歌姫の一群、鈴蟲・松蟲・馬追・こぼろぎ・轡蟲に機  
織蟲、何れも今は身にまとい薄ものを吹く嵐のつ

れなさをかこち、か弱い身に刃を提げて迫る冬の  
無慈悲を嘆いて、慄き怯えてゐる。其の蟲の姿に  
私は限りなき哀愁をひし／＼と感じたのでありま  
した。

私は思ひます。太陽は燃え、月も星も動いてゐ  
る。天地間の物皆は動いて居る、踊つて居る。生  
に踊り、死に踊り、喜びに踊り、悲しみに踊つて  
ゐる。眼をとめて森羅萬象の動きを見よ。森羅萬  
象の動きを踊れ。そして自然の深いもの、尊いも  
のに觸れて、己を深め、人生をして意義あるもの  
たらしめよと。

私は言ひます。人は人に學び、人に倣つて踊ら  
うとしてゐる。出鱈目に人が鳴らす樂器の音に合  
せて、自分をごまかし、人生をごまかす踊を踊ら  
うとしてゐる。自然界の森羅萬象は、人間には聞  
えない大宇宙のリズムに連れて、偽りのない、ご  
まかしのない赤裸々の踊を踊つてゐる。眼を開い

て、自然の動きを見よ、自然の踊りを踊れと。

## 二、雀を踊る兒―石井漢氏の

### 動きの教育―

子供は純真なものであります。子供は穢れがなく、神に近い者であります。自然に親しみ自然の愛を受けて、喜んで悲しんでも、其の心の動きが其のまま、自然に身體の動きとなつて現はれて出ます。子供は何かに附けて、踊つたり跳ねたりいたします。自然は踊る、自然の兒である子供は踊る、其の子供の教育として、踊はどう教育するか、此の問題は子供の教育上大切な問題の一つであります。之に就いて、私は現代の舞踊家石井漢氏の教育説に賛成する一人であります。石井氏は若し自分が子供に踊を教育として授けるなら、先づ子供を集めて、リズムによる簡単な身體の運動法を知らせる。或程度の動きが自由になつた時に

其の子供を連れて屋外に出る。其處に若し雀が遊んでゐたら、何よりも先づ其の雀の運動に十分な注意を拂ふ様に仕向けるといふのです。雀の運動に注意させる。之が子供の動きの教育、踊の教育の上で、極めて重要な點であることは言ふまでもありません。子供は好ましげに、楽しんで雀の運動を観るのでありませう。其の印象の薄らがないうちに、石井氏は子供達を早速ピアノのある室に連れて行つて、其の子供達の頭の中に印象された雀の雀の運動を、自分自身の體の運動で、再現させる、そして子供の運動につれて、ピアノで簡単にリズムをとつてやらうと言ふのです。

其の時、假りに甲の子供はトン／＼と前に飛びながら駆けて行つたとします。次に乙の子供はトン／＼と駆け出して急に立止つて、キョロ／＼とあたりを見廻したとします。次に丙の子供は、トン／＼と飛び廻つて、急に大きく飛

上つて其處に立止り、キョロ／＼とあたりを見廻したとします。これら三人の子供の運動に就いて石井氏の所感は次の通りであります。「甲の子供よりは乙の子供の運動の方が、乙の子供よりは丙の子供の運動の方がより複雑であります。此の三人の子供の運動の相違は、言ふ迄もなく三人の子供の頭の相違でありますが、私は何も運動の巧拙に目標を置いてゐるのではなく、これによつて、雀の運動といふものに對する注意力を喚起することが出来れば足るのであります。此の次に又何處かで、雀を見ることもありませんが、其の時には、此の子供達に限り、決して無關心で素通りの出来なくなることを信じます。そして注意をすれば、其の雀達は決して以前見た時の雀達と同じ運動をやつてゐるわけはありません。其處に子供の興味がそゝられます。」

### 三、自然の動きを見る者

石井氏の子供に對する踊の教育の眼目は、自然の動きの興味を起させる事にある様であります。前のは雀の例でありましたが、草木に例を採つても同様で、「同じ強さの風を受けて居つても、松の木の子の動きと、柳の枝の動きと、麥の葉の動きとは自ら異つた所があつて、各獨特な動き方をしております。それは各草木の體質の相違から來てゐることは言ふまでもありません。要するに子供に動きの興味を與へるといふことは、子供の頭に今まで氣づかずにゐた、動きから來る新しい世界を展開させてやることにならります。動きの教育を受けなかつた人は、大人になつても特別に大きな動き以外に無關心ですが、動きの教育を受けた人は路傍の小さな草の葉の動きにも自分の全生命を委ねることが出來ます。音に對する場合、色彩に

對する場合も同様です。」と石井氏は言つて居られます。

これで思ひ出した話か二つあります。樂聖ベートゥベンは好んで散歩をした人でしたが、或晩恐しい暴風雨をちかしてまで散歩を試みました。濡鼠になつて、激しい風と強い雨とに揉まれ、たゞかれ、攻め抜かれてあるきました。ベートゥベンは天地のうめきの中へ、風雨の雄だけびの中へ、木のうめきの中へ、自分の身を投じて、一つになつてうめき、同じ叫びを叫んで、嵐の樂を心の樂譜にしつかりと刻み附けてしまひました。やがて其の樂譜は五線の上に寫し出されて、世界の樂壇に不朽の調べをとゞめるやうになつたのであります。音に對する興味が高潮に達すると此の如き偉大なる藝術を産み出すやうになるのであります。

今一つは繪畫に關係した話であります。泉州堺の一國寺に、狩野法眼元信の描いた繪があります

が、其の繪をかいだ由來が面白いので話の種になつて居ります。一國寺の和尚は、居候の畫師が二年經つても三年經つても、何一つかゝないので痺れをさらせ、「何處へなりとも遊びを。」と言ふと、畫師は、「それは名殘惜しい。」と言つて、始めて繪筆を採りました。夜になると畫師はしきりに様々の身振をするので、小僧や和尚が面白がつて窺いて見る。知らない畫師は夜な夜な身振をこらす。さうして晝毎に襖の表に見事な鶴の姿を様々に描き出して行く。畫師は毎夜身を鶴に擬して我が姿を鳥に化せんが爲に心根を打込んで居たのであります。其の丹青の妙は今も尙人口に膾炙してをります。此の繪は焼けて今は無いとも傳へられてゐる。

それはともあれ、石井氏が、「路傍の小さな草の葉の動きにも自分の全生命を委ねるこゝが出来ます。」と言はれたのは、どんな小さな草の葉にも、

宇宙の生命が働いてをり、大自然の力が動いて居るといふ事を暗示されてゐるやうに思はれます。現代の或文學者は、病床にある數日の朝な夕な、庭前の樹木の動きをしみじみと觀てゐるうちに、樹木と自分とが同じ感じを感じるやうになつて、樹木を流れる大自然の生命が、自分の中を流れる宇宙の生命を喚起して、長い長い間疑問であつた「生命の力」が豁然として自覺され、悟了し得られたと云ふ體驗を語つてをります。

自然の動きを動かせ、自然の踊を踊らせる。これが子供の踊の眞髓であると同時に、子供の教育の根柢ではなからうかと思はれます。

x x x

x x x x

### 山家集より

吉野山こずゑの花を見し日より

心は身にもそはずなりにき

ねがはくは花の下にて春死なむ

そのきざらぎのもち月のころ

佛にはざくらの花をたてまつれ

わが後の世を人とぶらはば

花にそむ心はいかゞ残りけむ

すて果ててきとちもふわが身に

西行

# 謠曲から童話へ

水 谷 年 惠

五六

## 羽衣の童話化

謠曲は文章に節を附けて歌ふもので、此の謠曲の意を所作にあらはしたものが能樂であります。

謠曲は室町時代に興つた文學であつて、奈良朝文學の代表者が萬葉集であり、王朝文學の代表者が源氏物語であるなら、近古文學の代表者は謠曲であると言はれてをります。

其の行文は歌語を根底とし、更に佛法の説を以て潤色した美文で、前代の美辭や麗句を綴つたものであります。してその材料は、上古中古の古典に見える傳説や歌物語から、近古時代の戦記物に

至るまで、凡そ有名な文章や話篇から、殆ど悉く採つたものであります。

今日傳つてゐる謠曲は數百番にも達してをりまして、觀世・寶生・金春・喜多・金剛の流派によつて文句に多少の相違がありますが、一般に行はれてゐるものは、二百番内外であります。其の内でも有名なものの一つが、只今童話化を試みようとする羽衣であります。

羽衣は神話を種として、東遊(あづまあとそび)の故事を加味したもので、駿河の三保の松原へ、天人が降りて來た事を作つたものであります。羽衣を松に掛けて置いたのを、漁夫に拾はれて天に歸

ることが出來ず、悲しむ所が一篇の眼目になつてをります。其の天人の悲しむ様子が、まことに優美で、謂はゆる哀しんで傷らずと言つた風でありまして、謠曲の内でも此の羽衣のやうに精神高尚で、餘情遠大なものはあるまいと言ふことであります。天人が漁夫に乞ふて羽衣を返して貰ひ、其の所望によつて舞樂を奏でて昇天する所で一曲が終つて居りますが、富士の高嶺に三保の松原といふ、秀麗な風光を背景にとつて一段と雅趣を高めてをります。

私は此の謠曲羽衣の一篇に漲つてゐる、高尚な優美な、しかも壯大な情趣を、幾分かでも幼児の心情に觸れさせて見たいものだと思へまして、此の曲の童話化を試みるのであります。

所で此の謠曲を童話化する上に、少くも三つの要點に着目する必要があると思ひます。天人が漁夫に、「それは天人の羽衣とて、たやすく人間にあ

たふべき物にあらず。もとの如くに置き給へ。と言つて返させようとするが、漁夫はどうしても返さうとはしません。其處で天人が、美しく、優しく悲しみます。其處のやさしさ、美しさ、上品さは、最早地上のものではなくて、天上界のものであります。此の天上界の微妙なる情趣を、どういふ風にして幼児に觸れさせるかといふのが要點の一つであります。

天人の嘆きがあまういたはしいので、漁夫が羽衣を返すことにきめ、其の代りに天人の舞樂を所望すると、「嬉しやさては天上に歸らんことをえたり。」と天人は羽衣を着てから舞はうとします。漁夫は「いや此の衣を返しなば。舞曲をなさて其まゝに。天にやあがり給ふべき。」と疑ふ。其の時天人が、「いや疑は人間にあり。天に偽りなきものを。」と言ひます。此の「疑は人間にあり。天に偽りなきものを。」の天人の一語、生きとし生ける人



間の肺腑を貫いてあまりがあります。汚濁の人間界に清淨の天上界から、一條の靈光がさつとばかりに閃いたかの感を抱かずに居られません。此の潔白さ此の氣高さを、どんな風に童話に盛るかと第二の要點であります。

第三の要點は、東海の天に懸る玲瓏たる富士の姿、春の日のうらくと枝も鳴らず波も起らぬ三保の松原を、どう幼児の眼前に展開させるかといふ事であります。

以上三つの要點を生かす爲には、まづ謠曲羽衣を十分に味讀し、鑑賞することが大切であります。次には天人の義しい心、清らかな心、嚴かな心を我と我が心情に反映させることに大いに努めるのであります。幼児の眼に幼児の心に、此の啾嘶をする先生が、三保の松原の天人を彷彿たるものとして映じたなら、此の童話は大成功と言へるのであります。俗界の俗人のまゝで、心も洗はず

情も清めず、美しさも、やさしさも、氣高さも己の心の中に用意せずに臨んだのでは、此の謠曲を童話として生かすことは不可能であらうと思はれます。

背景に繪畫の力を借り、天人の舞樂の所で音樂を活用したならば、此の啾嘶に深い興趣を添へるであらうと思ひます。左に謠曲羽衣の全文を掲げ、次に之を童話とした一例を擧げることにして參考に供したいと思ひます。

謠曲の羽衣

元 清 作

シテ 天人。

ワキ 漁夫 伯良(白龍)

ツレ 漁夫。

處 三保の浦。

時 三月。

(シテ 主人公。ツレ 副。ワキ シテの客。)

(一聲、詞。 文句の上の名目。)

(サシ、クリ。 謠ひ方の上の名目。)

ワキ一聲、風早の、三穗の浦わを漕ぐ船の。浦人さ  
わぐ浪路かな。(風早の三穗の浦わを漕ぐ船の船人  
騒ぐ浪立つらしも。一萬葉集) サシ「是は三保の松  
原に。伯良と申す漁夫にて候ふ。ツン」萬里の高山  
に雲忽におこり。一樓の明月に雨はじめて晴れり。

げにのどかなる時しもや。春のけしき松原の。浪  
立ちつゞく朝霞。月ものこりの天の原。及びなき  
身のながめにも。心うらなるけしきかな。(漁夫の  
如き賤しき身にも空に心の浮き立つ春の景色だ  
なあ。) 歌「忘れめや山路をわけて清見がた。はるか  
に三保の松原に。たちつれいざやかよはん。風向  
ふ。雲のうき浪たつと見て。釣せて人やかへるら  
ん。待てしばし春ならば、吹くものどけき朝風の  
松は常盤の峰ぞかし。浪は音なき朝なぎに。釣人  
おほき小舟かな。ワキ詞「われ三保の松原にあが  
り。浦のけしきをながむる所に。虚空に花ふり音  
樂きこえ。(天人が近くありてゐるしるし。) 靈香

(れいさやう) 四方に薫ず。是ただごとと思はぬ所  
に。これなる松にうつくしき衣かゝれり。よりて  
みれば色香たへにして(色香すぐれて)常の衣にあ  
らず。いかさまとりてかへり古き人にもみせ。家  
の寶となさばやと存じ候ふ。

シテ詞「のうその衣はこなたのにて候ふ。何しにめ  
され候ふぞ。ワキ詞「是はひろひたる衣にて候ふ程  
に。とりて歸り候ふよ。シテ「それは天人の羽衣と  
て(天人の着物で、衣でありながら翼の用をなす  
もの)たやすく人間にあたふべき物にあらず。本  
のごとくにおき給へ。ワキ「そも此衣の御ぬしと  
は。さては天人にてましますかや。さもあらば未  
世の奇特(末の世のしるし)にとゞめおき。國のた  
からとなすべきなり。(前には家の寶といひ、いよ  
ゝ一切になつて國の寶とまで思ふ。衣を惜しむ  
情に注意)衣をかへす事あるまじ。シテ「かなしや  
な羽衣なくては飛行(ひさやう)のみちも絶え。天

上にかへらんことも叶ふまじ。さりとは返し  
たび給へ。(さやうではあらうが返して下さい。)

ワキ「此の御詞をさくよりもいよく伯良力を得。

本より此身は心なき。天の羽衣(天「あま」を海士  
「あま」に云ひかけた。)とりかくし。かなふまじと  
て立ちのけば。シテ「今はさながら天人も。はねな  
き鳥の如くにて。あがらんとすれば衣なし。ワキ「地  
にまた住めば下界(天上に對して此の世界を云ふ)  
なり。シテ」とやあらんかくやあらんとかなしめ  
ど。ワキ「伯良衣をかへさねば。シテ「力及ばず。

ワキ「せんかたも。地「涙の露の玉鬘。(なみをせん  
方無みと涙のなみとにかけ、たまを露の玉と玉鬘  
とにかけた。)かざしの花もしをくと。天人の五  
衰(五衰は五種の衰弱を天人の身にあらはすこと。  
命終る時には五衰相現すと佛書にある。その第一  
に頭上の花鬘忽に萎むとあるをこゝで云ふ。)も。

目のまへにみえてあさましや。

シテ「天の原よりさけみれば雲路まどひてゆくへ  
しらずも。(丹後風土記の歌。これから天人の悲し  
む感情を寫す。)地「住み馴れし空にいつしかゆく  
雲の。うらやましきけしきかな。迦陵頻伽(かり  
やうびんが、極樂淨土に住む鳥で常に美妙な聲で  
鳴く。)のなれなれし。聲今さらにわづかなる、雁  
金のかへりゆく。天路(あまぢ)をさけばなつかし  
や。千鳥鷗の沖つ浪。ゆくかかへるか春風の。空  
に吹くまでなつかしや。(まづ行く雲を羨み、迦陵  
頻伽を戀ひ、雁や千鳥や鷗や、春風までもすべて  
歸るものが皆羨ましい。昨日まで自由自在であつ  
た身が、一枚の羽衣を取られては地にも住まれず  
天にものぼられぬ苦しみを説き盡してゐる。)

ワキ「詞いかに申し候ふ。御姿を見たてまつれば。  
あまりに御痛はしく候ふ程に。衣をかへし申さう  
するにて候ふ。シテ詞「あらうれしやこなたへ給は  
り候へ。ワキ「しばらく。承り及びたる天人の舞樂。

たゞ今こゝにて奏し給はゞ。衣をかへし申すべし。  
シテ「うれしやさては天上にかへらん事をえたり。  
此よろこびにとてもさらば。人間の御遊（ぎよい  
う）のかたみの舞。月宮をめぐらす舞曲あり。た  
ゞ今こゝにて奏しつゝ。世のうき人につたふべし  
さりながら。衣なくては叶ふまじ。さりとはま  
づかへし給へ。ウキ「いや此の衣をかへしなば。舞  
曲をなさて其のまゝに。天にやあがり給ふべき。  
シテ「いやたがひは人間にあり。天に偽なきもの  
を。ウキ「あらはづかしやさらばとて。羽衣をかへ  
しあたふれば。シテ「少女（をとめ）は衣を着しつゝ、  
霓裳羽衣（げいしやううい）の曲（唐樂の曲の名）を  
なし。ウキ「天の羽衣風に和（くわ）し。シテ「雨にう  
るほう花の袖。ウキ「一曲をかんで。シテ「舞ふとか  
や。地「東遊の駿河舞。（駿河舞を東舞とも云ひ後  
には東遊とも云ふ）此のときやはじめなるらん。」  
地「それ久方のあめといつば。二神（伊奘諾、伊奘

冉の二神）出世のいにしへ。十方世界（東、西、南、  
北、東北、東南、西北、西南、上、下）を定めしに。  
空は限りもなければとて。久方の空とは名付けた  
り。——」然るに月宮殿（月界の御殿の名）のあ  
りさま。玉斧の修理（立派な建物。）とこしなへに  
して。地「白衣黒衣（びやくえこくえ）の天人の。  
（白衣の天人十五人、黒衣の天人十五人、總べて三  
十人の天人が、一月を持ち分けて毎夜つとめをす  
るを云ふ。三五は其の片方の十五人を指す數。）數  
を三五に分つて。一月夜々（いちげつや）のあま  
少女。奉仕をさだめ役をなす。シテ「我も數ある天  
少女。月の桂の身をわけて。（月中に桂の木がある  
といふ故事によつて、桂を月の事にもちひる。桂  
の實を身にかけてある。われ月界に住む身を分け  
ての意）假に東（あづま）のするが舞。（假に東國  
に天降つたの意、あづまは東國と東遊との意を兼  
ねてゐる）世に傳へたる曲とかや。

と云ふ意から内外に續けたのである。内外の神は伊勢の内宮、外宮。月も曇らぬ日の本や。

シテ「君が代は。あまの羽衣まれに來て。(來てに着てをかける。)地「撫づとも盡きぬ巖ぞと。(君が代は天の羽衣まれにきて撫づともつきぬ巖なるらん。―拾遺集)聞くも妙なり東歌。(その古歌を聞くと東歌を聞くと兼ねていふ。東歌は東遊に歌ふ歌。)聲そへてかずくくの。笙・笛・琴・箏・篳篥(しやう・ちやく・さん・くご。何れも樂器の名。)孤雲の外に充ち満ちて、落日のくれなるは。蘇命路(そめいろ、染色の意を兼ねぬ。)の山をうつして。(蘇命路は須彌山ともいふ。佛法でいふ想像の山。紫色部の歌に、「北は黄に南は青く東しろ西くれなるに蘇命路の山。」といふのがある。蘇命路の美しき山を寫し出した景色だといふ。)緑は浪に浮島が。拂ふ(原をかけて。)嵐に花ふりて。げに雪をめぐらす。白雲の袖ぞ妙なる。

クセ、春霞たなびきにけり久方の。月のかつらも花やさく。(春霞たなびきにけり久方の月の桂の花や咲くらん―後撰集。春霞のたなびいてゐるのから思ふと月界の桂の木も花咲く頃であらう。)げに花かづら色めくは春のしるかや。おもしろや天(あめ)ならで。こゝにも妙なり天津風。雲の通ひ路吹きとぢよ。少女の姿ししばしとまりて。(古今集僧正偏昭の歌。空吹く風に雲の通ひ路を閉ぢさせて、しばしの間でも天女の姿を見て居たい。)此の松原の。春のいろを三保がささ。(三保のみに見るのみをかけてある。)月清みがた富士の雪。いづれや春のあけぼの(いづれや春の景色ならぬ、すべて春の曙である。)たぐひ浪(浪のなに無しのなをかけて。)も松風も。のどかなる浦のありさま。そのうへ天地は。何をへたてん玉垣の。内外(うちと)神の御すゑにて、(天上も下界も隔つべきわけがないと云つて隔の字から玉垣を出し、垣の内

シテ「南無歸命月天子。(なむきみやう)佛法にて佛を拜む詞、がつてんし。月の事。)本地大勢至。(佛法で月の本體は勢至菩薩だと説いてゐる。月を拜む詞。)

地「東遊の舞の曲。

シテあるひは。天つみ空の緑の衣。地「または春立つかすみの衣。(舞ひて翻す衣の様を色々に見なしていふ。)

シテ色香も妙なり少女の裳。左右左。さいう颯々の。(左右左は古舞踏に身を振舞つたのから云つた舞の様子、颯々は舞の衣を吹く風の聲か。)花をかざしの天の羽袖。靡くも返すも舞の袖。

地「東あそびのかず」に。その名も月の色人は。(白氏文集に、「三五夜中新月色」とある。其の名も此の詩の句にあるやうに月の色人であると云ふので色人は天女を指す。)三五夜中の空に又。(十五夜の明かな空の上に又)満願真如の影となり。

(すべての願が満足つて本の心に返ることを月影

の明なるに譬へて云ふ。)御願圓満國土成就。七寶充滿の寶を降らし。(七寶など種々の充滿した寶を天から降らせる。)國土に是をほどこし給ふ。さる程に時移つて。天の羽衣浦風に。たなびきたなびく三保の松原。浮島が雲の。愛鷹(あしたか)山や富士の高嶺。かすかになつて天つみそらの。霞にまぎれうせにけり。(三保、浮島、愛鷹、富士、段々と天人の遠くなる様を駿河の名所であらはす。)

### 童話の羽衣

月の世作に美しい姫様の天人が大勢住んでゐました。十五人の天人は眞白な着物を着てゐました。又十五人の天人は眞黒な着物を着てゐました。天人達は月の世界の女神様と一緒に毎晩人間の住んでゐる世界や、色々の星の世界を見おろしてゐました。

或晩眞白な着物を着た一人の天人が女神様に、

「女神様、私は人間で住んでゐる世界に行つて見たくなりました。行つてもよろしう御座いますか。」

と伺つて見ました。女神様は、

「あゝ、よろしいよ。夜が明けたら、お出かけなさい。」

「さ。」

とおつしやつて、天人の羽衣といふ着物を下さいました。其のうちに東の空がぼつと明るくなつて、お日様の乗つていらつしやる金のお船で吹立てる喇叭の音が、向ふの方から聞えて來ました。

天人は、

「女神様いつて參ります。皆さんいつて參ります」と言つて、天人の羽衣を着ました。すると、天人の體はふわりと浮き上つて、白鳥のやうに、ふわ／＼と高い空を飛んで、人間の世界の方へ舞降りて來ました。

月の世界の眞白な着物を着た天人達は、よい匂

のする薔薇や蓮華の花を降らせました。眞黒な着物を着た天人達は笛や鼓のよい音楽を響かせました。

すつかり夜が明けて、お日様から流れ出した金の波が海一面に光つてゐます。緑の松原の向ふの空には、目を覺した富士のお山が、藍色の大きな／＼扇を、ぱつちりと擴げてゐます。沖の方で千鳥が、

おてんとう様　ご機嫌さん、

三保の松ばら　お早うさん、

富士の山さん　よいおかほ。

と歌つてゐます。その時、濱邊の白い砂の上へ、よい匂の花が、ばら／＼、ばら／＼と降つて來ました。何とも言へないよい音楽が、チラー、チラーと聞えて來ました。そして空から羽衣を着た天人が、すつと舞ひ降りて來ました。

松の木にとまつてゐた雀達がびつくりして、

「美しいお姫様だね、何處から來たのだらう。」

「天から降つて來たのだよ、人間ぢやないよ、天人だよ。」

「此處には天人の友達なんかゐないから淋しいだらうね。」

天人は雀の言ふことが皆わかりました。天人は羽衣を脱いで松の木の枝に掛けると、松原の中を向ふの方へ歩いて行きました。

伯良といふ漁師が、釣竿を擔いで出て來ました。

松の木の枝に見たこともない美しい着物が掛けてあるのでびつくりしてしまひました。

「誰が掛けておいたのだらう。」

香つて羽衣を松の木からおろして見ました。見ると天堯るほど美しいので、

「か鹿な着物だなあ。持つて行つてうちの寶物にもよう。」

「おれが羽衣を大切にかゝへて歸らうとする所へ

天人がもどつて來ました。

「もし。其の着物は私のです。それは天人の羽衣と言つて、人間の着るものではありません。どうぞ返して下さい。」

と申しました。伯良は天人を見て又びつくりしました。眞白な着物を着て、髪に月の世界で咲いた美しい花の飾りを附けた天人のやさしい姿は、拜みたいやうに見えました。伯良は、

「では此の着物はあなた様ので御座いますか。此の着物は天人の着物で御座いますか。それは珍しいものを拾ひました。これは天子様に差し上げてお國の寶物に致しませう。此の着物は私が貰つて行きます。」

と言つて歩き出しました。天人は、

「待つて下さい。私は其の羽衣を着なければ空を飛んで月の世界へ歸ることが出来ません。私は天人ですから人間の世界にはをられません。ど



「お返して下さい。」

言つて頼みましたが、伯良は返さうとはしませ

と木の雀達は、天人を可哀想に思つて、

この天人はもう天へ歸れないのだ。」

「わるい漁師だ、早くあの羽衣を返してやればよいに。」

「天人は天へ歸れなかつたら、死んでしまふかも知れないね。」

波の上を飛んでゐた鷗達も、天人のあはれな様子を見て、近くへ寄つて來ました。

「羽衣をとられたのだ。」

「あゝ可哀想なことだ。」

沖の方から千鳥も飛んで來て、

「もう天へ歸れないのだ。」

「何といふ氣の毒なことだらう。」

と話し合つて居ます。

鶯も來て、

「ピィ ヒヨロ〜〜〜」

オィ ヒヨロ〜〜〜。

ピィ ヒヨロ〜〜〜。

オィ ヒヨロ〜〜〜。

と歌ひながら天人の上の空へ輪を描いてゐます。春風が氣の毒さうに吹くと、松が、

「かへしておやりよ、羽衣を、

かへしておやりよ、伯良さん。」

と細い聲を立てました。波も、

「おかあいさうな お姫様、

おかあいさうな 月姫さん。」

と言つて岸を打ちました。

天人は高い天を見上げて、

「私は羽のない鳥のやうなものだ。私は天へ歸れない、どうしたらよいであらう。」

と悲しがりました。

雀も、鷗も、千鳥も、鳶も、

「私の羽をあげませう。」

「私の羽をあげませう。」

と聲を揃へて言ひました。天人は、

「いゝえ、其の羽を貰つても、其の羽では飛べま

せん。羽衣を着なければ、どうしても天へは歸

られません。」

と言つてを涙こぼしました。

空に浮んでゐた白い雲が、

「では私に乗つて月の世界へお歸りなさいませ。」

と聲をかけました。

「いゝえ、いくら天人でも羽衣がなくては、雲に

乗つて天へは上られません。」

と天人がこたへました。松風や、波の音が、

「かへしておやりよ 羽衣を、

かへしておやりよ 伯良さん。」

「おかあいさうな お姫様、

おかあいさうな 月姫さん。」

と歌ひました。漁師は天人が可哀想になつてしま

つて、

「ではお返し申しませう。」

と言ひました。天人は、

「あゝうれしや、天へ歸られます。さあ返して下

さう。」

と言つて両手を差出しました。

伯「そのかはり、今此處で天人の舞を舞つて見せ

て下さいませ。」

天「舞つて見せませう。まづ其の羽衣を返して下

さう。」

伯「いけません。これを返したら、あなた様は舞

を舞はないで、天へ上つておしまひになるでせ

う。」

天「天人はうそを言ひませぬ。天人の住む世界に

はうそといふものはありません。天を御覽なさ

言はれて伯良が天を仰ぐと、雲の間から光り輝く女神様のお姿がきらりと見えて、忽ち眼がくらんでしまひました。

「ごめん下さいませ。ごめん下さいませ。私は何も悪い事を申しました。さあお返し申します。」  
 と言つて、伯良は天人に羽衣を返しました。

天人が喜んで其の羽衣を着ると天人の體はふわりと空へ舞ひ上りました。すると、天からよい匂いのする薔薇や、蓮華の花が、ぱら／＼、ぱら／＼と降つて來ました。そして笛や鼓のよい音楽が、チララー、チララーと響いて來ました。

天人は其處で舞を舞ひ始めました。伯良は天人の舞があまり美しいので、見とれてしまひました。雀も、鷗も、千鳥も、鳶も、嬉しくて嬉しくてたまらないといふ様に、天人のまはりを飛び廻りました。春風は天人の羽衣をやさしく吹いて、松風

や波の音は、

「ラ、ラ、うれしや、うれし。

ラ、ラ、うれしや、うれし。」

と囃しました。

舞が終ると、天人は富士のお山の上の上の方へあかつて、行つて雲の中へかくれてしまひました。



# セルリの栽培 (二)

## 大 岩 金

### 窒素質肥料

セルリは特に此の肥料を多量に要する作物であります。そして窒素質肥料の源の主なるものは納屋或は厩等から出来る堆肥とか、人糞尿、硝酸曹達、硫酸アンモニア、乾血、肉片、肉粗粉、血液、魚肥、綿實粕、油粕類、窒素質の鳥糞等であります。然して硫酸アンモニア、硝酸曹達等は窒素質作物に供給する事が速でありまして堆肥は甚だ遅効性のものでありますが、その肥効は長期間にわたる特徴があります。

### 磷酸質肥料

この肥料は磷酸石灰としての化合體のものが最

も普通でありまして是以外の形では天然にはありませんでせう。此の磷酸物の主源とも見る可きものはカロリナの南部「フロリダ」或はラサ島等の燐鑛及び骨、鳥糞(主に鶏糞)厩肥、綠肥、糠等であります。

骨が非常に細粉にされた場合にはある程度迄可溶性になります。が、燐鑛は非常に遅効性のものでありますから硫酸で處理されて用ひられます。硫酸は磷酸の大部分を比較的速に植物に有効な状態に變化させるものであります。即ち市場に販賣されてゐるものは燐鑛を硫酸で處理して磷酸石灰の形で細粉されたものであります。是は土壤中で永

續的の効果を與へるものであります。セルリに施用しますには大部分は純生骨の磷酸石灰が最良の形でありますが其の効力の遲速は細粉の程度に比例するのであります。

#### 加里質肥料

この肥料としては硫酸加里、鹽化加里及びカイニット等として知られて居ります所の加里鹽が普通であります。又多量の加里鹽が草木灰中にも得られ、堆肥厩肥中にも著しい量を含んで居ります。一般に重土の場合には加里分は多量に含まれてゐて此の加里が植物を栽培することに依つて徐々に可溶性となつて植物に利用されるものであります。

然し輕土即ち植土或は砂土の如き輕鬆土には一般に加里質が缺乏してゐるものであります。是は加里が可溶性に變化し土壤が滲透性の爲に流失される量が多いからであります。

尙加里は肥料中最も廉價なものの一つであります爲に寛大な施用をされるものであります。然しながら是の施用の場合には最も注意を要するものであります。即ち磷酸質肥料等と混合施用する場合（磷酸を不溶解にする）又は過用の場合は植物を枯死させることがあります。

#### 石灰

是は間接肥料ともいふべきものであります。先に腐植土等を利用する場合等に施用して有効なものであります。

源泉の主なるものは、石灰石、蠣殻、燐鑛等でありまして直接是等を粉碎して使用する場合もありませんが多くの場合は一度焼いて酸化石灰即ち生石灰に變ぜしめたものであります。

此の石灰の施用に依りまして土壤は化學的及び物理的の二方面からの効果が得られるのであります。即ち粘重土壤は石灰の加用に依りまして粗輕

となりまして耕耘が容易になりますし、輕鬆土に於きましては粘着力を増し保水力を有せしめる様になります。この作用はコロイドに依るものであります。

次に化學的効果としまして如何なる土壤に於きましても加里及び他の植物養料をして可溶性として植物に吸収し得る形に變へます。又土壤中の窒素即ち亞硝酸鹽或は他の不溶解の形のを硝酸鹽或は可溶性の形に變へる爲にバクテリアの作用を助長させるに効があります。

### 食鹽

セルリ栽培に際して食鹽を施用してセルリの香味を加ふといふ話の様な話がありますが是は殆ど其の目的を達する事は不可能でありまして食鹽施用の爲に水に對する親和力を増し場合によりましては病蟲害を繁殖させる虞がありますが、又酸性肥料の施用等の場合の如きは石灰の施用と同様効

果を認める事が出來ます。

然し是の施用は植付一ヶ月前位にせねば反つて植物を害する心配があります。又乾燥期に作付する場合の如きは小量の施用によりまして、保水の効がありまして有利な場合があるとの事であります。尙前記二三の肥料に就きまして次に繰返し詳述致します。

### 堆肥、厩肥

是等は總て農業上の廢物及び家畜の排泄物、敷藁等が主なるものであります。即ち厩肥は一般勞働用の家畜から得られるものでありますが、場合に依りましては乳牛、肉用牛、豚等からも得られます。肥料價值としては其の取扱の如何によりまして大差のあるものでありまして、注意して雨露に晒さず適當に堆積腐熟せしめる必要があります。大體におきまして其れ等肥料中に含有して居ります成分を化學的に換算しますと一噸中に二ド

ル五〇セントの價値があるといはれて居りますが、不溶性分等が含まれてゐます爲に實際の價値は一ドル二五セント位だといはれて居ります。

次に此の種の肥料は一般に化學的價値のみならず、物理的價値を認めなければなりません。即ち砂土或は輕鬆な土壤に施用しますと土壤に結合力を與へまして保水力を増す役をしますし、粘重な土壤に施用しますと輕鬆にしまして作物栽培の條件を改良するのであります。又濕潤地におきましては肥効を長く保たせる上に最も有利なものであります。

この様に堆肥、厩肥の施用は土壤を改良する上に有効でありますが、又一説には粘重土にあま利多量に施用します時は病氣の發生を見まして甚だしい損失を見るといはれます。是は特に新鮮な堆肥、厩肥を多量に施用した場合に起る現象でありますから堆肥、厩肥は充分腐熟させる必要があり

ますと同時に是が施用の時期に留意する必要が有ります。例へば秋の耕耨の場合施すとか、冬季中に撒布しておく等の方法を探ります。要するに定植前に施用しておくのであります。或は又冬季中に他の種々の肥料と共に混合して雨露を防いで堆積して充分腐熟しましたものは早春地上に撒布するのも好ましい方法でありますし、又前作として豆科の作物等あつた場合は定植前に是をよく耕耨しまして定植する時に也の肥料と混合して同時に施すのもよろしいのであります。ところが堆肥、厩肥は氣候と密接の關係を有するものであります。即ち乾燥地におきましては養分の分解が遅いものでありますから此の場合には可成施用を早くする必要がありまして濕潤の地方でありましては養分の分解が速でありますから定植の際施用するものが有利なのであります(無論充分腐熟したもの)尙前者の場合は毎年施用の要もありませんが後者

の場合の様なのは毎年にして且つ相當多量に施用する方が有利な場合があります。

要しますにこの種の肥料は自家用としてセルリを栽培する場合は相當重要な肥料と認めねばなりません。

豈セルリ栽培の場合のみではありませんが。

然し大規模の場合は運賃等の關係上あまり賞用されぬ様であります。

#### 家禽堆肥

是は相當高價な肥料であります。前記と同様な具合に考へて一噸の價を見ますと約七ドル五〇セントに相當するさうであります。

家禽堆肥中に含まれてゐます要素は有効な形のものが多量でありますから定植の直前に上層に施用されます。無論腐熟させて使用する事は前者の場合と同様であります。

#### 魚肥

乾魚或は魚粕等は比較的價値ある窒素及び磷酸肥料の源でありましてこの肥料は主として魚油工場等の廢物でありまして粉末になつたもので六一〇%の窒素と五―八%の有効な磷酸とを含有してゐる様であります。加里は缺乏して居りますから魚粉を施用する時には魚粉四に對し高級の鹽化加里一の割合位に混合して用ひますと最も良好な結果が得られます。即ち肥効を速にすることが出来る譯であります。

又木灰を併用する場合もあります。この場合には魚粉一二〇ポンドに對し粗木灰八〇〇ポンド位の割合に混合しまして、一英反には魚粉三一五トント木灰二―三トンの割合に施されます。

要しますに魚肥中の脂肪の含有の多少はやがて肥効の遲速を生ずるものでありますから此の種の肥料には加里なり、木灰なりを併用する必要を生ずる譯なのであります。



## 人糞尿

此の肥料は不熟のものを施用しますとしばしば作物を害する事がありますから充分腐熟させて用ひなければなりませんし又セルリがサラドとして用ひられる様な場合には可成使用せぬ方が好ましいものであります。腐熟させた人糞尿は肥料としての効も相當ありますので我が國におきましては殆どあらゆる場合に施用してゐますがアメリカでは商業上の規約としまして園藝作物には使用せぬ事に成つてゐる様であります。

要するに肥料成分はセルリ定植の時に既に少々宛有効の状態でなければなりませんから人糞尿を施用する場合の如きその土質が粘重な時は特に多少前に施してよく位にする方が總てに安全であります。

## 施肥量

施肥量は氣候、土質等に依りまして大差を生ず

る事は喋々を要しない事でありましたが今假にアメリカに於て行はれて居る例を舉げて参考に致したいと思ひます。それにフロリダ燐鑛を一五〇—一六〇ドル、厩肥を二〇—四〇車を一英反に毎年施すといはれて居ります。それは腐熟した牛の厩肥では是は掣き込むのを普通とします。

又一英反に對して確實な上級の厩肥二トンの内一トンは地表の全面に撒布し残りの一トンは作條の間へ敷き木灰を是に混合して用ひ一〇〇〇ポンドの硫酸アンモニアを生育期中の補肥として三—四回に分けて施用する様な例もあります。

又セルリ作前に豆科の植物の栽培されてゐる様な場合には三年目毎に石灰を補給する事がありますが、木灰を多量に用ひてゐる場合には其の要はあまりありません。

又寒地におきましては多量に施肥する必要がない様にいはれてゐる様でありますがやはりセルリ

栽培の上におきましては相當量の施肥は收量の上  
に好結果が得られるものであります。

一般的に論じますとアメリカに於きましては一  
英反に對しまして二―三年おきに厩肥二〇トン金  
肥一―二トンを施すといつた様な状態が採用され  
て居りますが我が日本におきましては少量宛を毎  
年施用する方の有利な事は風土の關係上肥料の分  
解が盛んである事に基因するのであります。

而して連作は肥料の利用上不利な點が多いので  
少なくとも四五回おきには他の作物を栽培して地力  
を恢復させる必要があります。

今極小規模のセルリ栽培の場合の施肥量の一例  
を擧げてみますと上等の金肥即ち窒素分八% 磷酸  
分六%を含有してゐるものを二ガロットの十分の  
一即ち一合二勺以下の量を一株に施用するといふ  
程度であります。此の場合には厩肥等の施用は望  
ましくありません。

肥料は土壤中におきまして一般に一二―一八イ  
ンチの廣さの内に於いて植物の根に吸収利用され  
るものでありますからあまり根本に施肥すること  
は害あつて益ない場合がありますから注意を要し  
ます。

尙理想をいへば定植前に施肥することでありま  
すが是は稿を新たに於いて記述致します。

× × ×

× + ×

## 五月に於ける「觀察」(其の三)

堀 七 藏

## 一

五月になつても四月に於ける觀察の繼續をなさねばなりません。殊に室内に於けるいろ／＼の遊び道具や運動場に於ける運動道具の觀察をなさしむべきことは勿論であります。従つて五月に新に加はるべき觀察材料は左程多きことを望む必要はありません。尤も幼兒に同一のものを繼續して觀察させることは興味をそぐやうであります。それは保姆の指導如何にあることであります。觀察だからといつていろ／＼の知識を授けんとしたり、また只「よく御覽なさい」と強要するときは幼兒はあき易いからいやがります。いやがるものを無理に觀察させる位困難なことはありませんが、同じものであるからいやがることはないのであります。觀察する方面を轉換すれば新に興味を惹起することは容易であります。また單に観るといふ觀察でなく、いろ／＼の作業と結付けると三月でも四月でも繼續してゐるも興味はつきません。幼兒が砂遊びに絶えず新しき興味を起し、いろ／＼の方面の觀察をなし、その結果いろ／＼の觀念を得てゐることは誰もよく承知してゐる所でありませう。また幼兒が水遊びを好むこともど

んなにながく續くものかといふことはどなたも御承知でありませう。それで五月に於ても四月の材料について繼續的な觀察をさせることが必要であります。これは事物の觀察を養成する上に於て必ず行はねばならぬのであります。茶の花は茶の花盛りするときだけ觀察させて満足すべきものではありません。茶の花が咲いた後にどんなに變化するかも是非觀察させねばなりません。元來幼兒は外界の刺激を受けて個々の事物現象を斷片的に偶然に觀察することが多いのであります。その觀察は勿論明白を缺き、斷片的のものが多くのであります。自然の儘に放任して置けば幼兒は偶然の觀察をなし、無意識的な經驗をするに止まるのであります。幼稚園に於ては多少之を指導して意識的な經驗をなすやうにせねばなりません。それがためには同一の事物現象を成るべく繼續的に反覆して屢々觀察させることが必要であります。また外界からの刺激が弱くとも教師保母が問を出して幼兒の目をその事物現象に向けしめ、幼兒が自發的に意識的に觀察するやうに指導せねばなりません。既に述べた如く觀察は、幼兒の觀察で決して教師保母の説明ではありませんが、しかし教師保母は幼兒の注意を特殊な事物現象に集中させてそれをよく觀察させるだけの指導を必ず行はねばなりません。「これはかくく〜であります。分りましたか」などと、説明することは觀察に於て保母がなすべきことではありませんが、「サアこのところがどんなになつてゐますか」と、幼兒の眼を集める方向を示すことは保母のなすべき重大な任務であります。

さて五月になつてからは動物でも植物でも成るべく多く観察させて幼児の觀察を豊富にせねばなりません。植物ではその幼稚園の庭にある草花でも樹木でも成るべく觀察させて、その花や葉の形状色彩等の觀察を明白にし、その名稱と結付けねばなりません。殊に五月には植物ではつつじでも藤でもまたたんぽぽでもべんべん草でも更に桐の花が得られるならばそれも觀察させるがよいのであります。また花菖蒲なども觀察の材料とするのがよいのであります。是等の草花は保育室の花瓶に生けて觀察させるもよく、幼稚園の庭に於てその儘觀察させるもよいのであります。觀察といへば花一本切つて、或は細かくこはしていぢくらせることだけではありませぬ。さりの花で花輪をつくるもよく、つつじの花や藤の花でまゝこと遊びをさせるもよいのであります。またさりの花に集つてゐる蟻、ふじの花に群がる蜂なども觀察させねばなりません。またつつじの花の蜜を吸つてゐる蝶がどんなにしてゐるか、蝶がとぶときと蜂がとぶときとどんなに違ふかなど、いろ／＼のことを觀察させねばなりません。この點からして特に植物とか動物とかいふ風に、切離して觀察させることは面白くありません。多くの觀察材料を列舉したものは大人の頭で分類して置く方が只便宜であるといふまでのものであります。幼児が實際觀察するときには自然を對象とすべきものであります。成るべく總合的に大きな場面の自然物を觀察させる方がよいのであります。しかし總合的の觀察をさせねばならぬといふ趣意ではありませぬ。只幼児の自然に任せて大自然を觀察させるといふ態度でありたいのであります。従つて幼稚園の庭を散歩したり

遊んでゐる間に植物でも動物でも成るべく観察させるのであります。お池に泳いでゐる金魚でも鮒でもまた龜でもおもりでも、更におたまじやくしてもお池にゐる儘で成るべく観察させねばなりません。強いて題をつけねばならぬならば「お池にゐるもの」といつてもよいのであります。また「花壇」といふ題で、それ／＼幼稚園の花壇の草花や、そこに集るもんしろてふ、雀、蜂、蜘蛛でも、またけむしでも観察さものがよいのであります。それで幼稚園の附近に竹藪があればそこに幼児を引卒して苟を觀察させるも結構でありますし、また竹の莖や葉を觀察させ、竹の葉で笹舟をつくらせてお池に浮べて遊ばせるもよいのであります。また竹藪で蚯蚓を見付ければ、それを觀察させるがよいし、蝸牛を見付けたならば蝸牛をよく觀察させねばなりません。また小川があつて幼児を引卒することが出来れば、小川の石、水の流れ、めだかやえび、ふなでも、どせうでも觀察させるがよいのであります。田圃に幼児を連れて行けばその田圃で觀察出来るものをよく觀察させねばなりません。また手近に得られる材料を使つて幼児の作業や遊びの材料とせねばなりません。農村の幼稚園で電車の觀察であるとか、その邊になき西洋草花を觀せることかするのは幼稚園に於ける觀察ではありません。それでその幼稚園々々によつて五月に於ける觀察材料が異なるべきものであります。幼稚園からせい／＼三四町以内、幼児をつれて十分間位に行くことの出来る範圍内で幼児に觀察させることの出来る材料を選択せねばなりません。満三四歳の幼児でありますから之を引卒するには相當骨も折れ、また危険を伴ふのでありますから、それ等

の危険のない範圍内に材料を求めねばなりません。五月六月の農繁期に於ての託兒所幼稚園などでは特に注意して幼兒の遊び材料を考慮せねばなりません。

## 三

五月には多くの地方では五月節句が行はれませう。幼稚園でも五月節句のお雛様を陳列するとか、鯉のぼりや吹流しを立てる所も多いでせう。是等を觀察させることも肝要なことであります。吹流しや鯉のぼりと風雨などの觀察をなさしめるもよいのであります。また五月相撲にちなんで土俵や軍配、四本柱などを觀察させるもよいでせう。また農村では田植を觀察させ、田植祭り、また春祭などを觀察させるもよいのであります。是等の社會行事を取入れて幼稚園に於ける觀察・談話・唱歌・遊戲・手技等が総合的に行はれることは誠に肝要なことであります。社會行事を知らせるのが主要な目的ではなく、之を利用して幼兒の生活内容を豊富にさせ、幼稚園保育の目的を達することが眞の精神であります。

定規文注

告 稟

- 一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歓迎いたします。
  - 一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。
  - 一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新聞書、交換雜誌、入會手續、更に
  - 一、本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。
- 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
- 日本幼稚園協會
- 一、本誌購讀御希望の方は日本幼稚園協會に御加入下さい居所、氏名を明記し會費前金にて東京女子高等師範學校附屬幼稚園内日本幼稚園協會に御申込下さい。
  - 一、日本幼稚園協會會員外にて本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
  - 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
  - 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
  - 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に『前金切』の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
  - 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

告 廣

特等面一頁 金參拾圓 二等面一頁 金貳拾圓  
 一等面一頁 金拾五圓 一頁以下御斷  
 神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。

發 行 所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内  
 日本幼稚園協會  
 振替口座東京一七二六六番

不 許 復 製  
 禁 轉 載

編輯兼 發行者 堀 七 藏  
 東京府豊多摩郡戸塚町大字戸塚五七五  
 印刷者 猪 木 卓 二  
 東京市麴町區飯田町二丁目五十番地  
 印刷所 京華社印刷所

價 定

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料貳錢
半ケ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ケ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)

昭和四年四月十二日印刷  
 昭和四年四月十五日發行  
 幼兒の教育 第二十九卷第四號



◆ 著名大四・園稚幼 ◆

奈良女高師教・授附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

定價 十六圓

幼稚園の理論及實際

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

定價 二十圓八十錢

保姆教育學

奈良女高師教授・附屬幼稚園主事 森川正雄先生著

定價 十六圓

幼稚園所 育兒法

大阪家なき幼稚園 大阪 毎日 顧問 橋詰良一先生著

定價 二圓五十錢

家なき幼稚園の主張と實際

△唯一の邦文參考書 幼稚園の理論及び實際を體系的に説かれたる唯一無二而かも最良の參考書である。

△幼稚園の經營原論 内容は古今の理論内外の實際等幼稚園經營諸問題を網羅し悉く之を解決指示する。

△保姆檢定の唯一參考書 文部當局と打合せ、新定幼稚園令施行規則の教育・児童心理・教授法・管理法を全部網羅した。保姆受驗者の參考書とした。保姆養成所及び女子師範等の保姆及志望者の唯一の教科書である。

△新幼稚園施行規則 による保姆に必要な幼稚園託児所に於ける適切な育兒法を詳述し盡されてゐる。

△本書も又保姆檢定の必須參考書 保姆志望者並に保姆必須の書。

△創設者の苦心披露 先づ露天に於ける家なき幼稚園を創設し次に自動車及び電車に進みし實況を披露する。

△六つの家なき幼稚園 現に調査中の六幼稚園の實際を悉く詳記し天下此種の幼稚園經營者の參考に供する。

東洋圖書株式會社發行 大阪・東京 大阪南區寺堂一丁目 振替大坂三五九六番 直轄文一手取扱

東京高等師範學校教授 文學博士 樫崎淺太郎先生著

菊判洋裝 定價二圓卅錢 送料金十八錢

學校選擇 職業指導

兒童素質検査法

入學試驗廢止に伴ふ兒童素質検査の方法及とその他の標準

小學校卒業生の將來進むべき學校選擇と從事すべき職業の選擇を誤らんか、其損失は怖らく終生的の物である。吾等は學校の試験制度や卒業生の就職難や其他職業的缺陷を論議する以前に最も根本的問題として、兒童の一般素質並に特殊の素質即ち職業的素質等を合理的に検査して、最も適材を最も適所に進め得しめ児童の一般素質を充分に發展せしめてこそ個人的生活の幸福理想に到達すべき筈である。本書は樫崎博士の著一般素質検査法の試の中より兒童の學校選擇職業指導を爲す標準となるべき唯一の指針である。

東京高等師範學校教授 文學博士 樫崎淺太郎先生新著

心理學概論 第一卷

菊判洋裝 定價二圓卅錢 送料金十八錢

本書は現代心理學の諸傾向に筆を起し次に心理學序論に入り更に人間性概論に到り最後に人間性各論に於て先生日常の蘊蓄を傾注せらる、その組織的體系は言はずも哉、構想の偉大、立論の正鵠の更に嚴正的批判、独自の研究等斯學の研究者は勿論教育家一般識者は本書に依つて開發せられ、指導せられ研究の前途を摘示せらる、事必然である。

東京高等師範學校教授 文學博士 樫崎淺太郎著

兒童精神的研究

菊判五百頁 定價四圓八拾錢 送料貳拾七錢

文學博士 樫崎淺太郎著

選拔法概論

菊判五百五十頁 定價金拾五圓 送料金拾八錢

文學士 朝日直樹著

行動主義心理學

紙數四百五十 定價十三圓 送料十八錢

本書は内省心理を從來感覺より始むべきを反射反應より始め、本書一貫刺戟と應答の圖式に於て適當なる解釋を爲す。

枠のぼり 定價百參拾圓



四谷幼稚園にて

東京市神田區一橋通町(帝國教育會館内)  
株式會社フレールベル館

電話九段 三三三三  
三六六三  
振替東京 一九六四〇九番番番

## キンダーブック

### 第二輯豫告

キンダーブック第一輯十編はお蔭を以て豫定の如く盛況裡に完結致しました厚くお禮を申し上げます。

四月から第二輯を發刊致します。今回は第一輯の經驗に鑑みまして益々奮勵努力以て第一輯以上良いものを作りたいと日夜準備に忙雜されてゐます。どうか第一輯以上御後援の程偏懇願致します。